## 東通原子力発電所

## 温排水影響調査結果報告書(案)

令和7年度 (第1四半期報)

令和7年

青 森 県

#### まえがき

青森県及び東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が施設 前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため、「東通原子力発 電所温排水影響調査実施計画」に基づき、平成 15 年 4 月から、海洋 環境と海生生物の調査を実施しています。

なお、海洋環境調査項目(取放水温度、水温・塩分、流況、水質、 底質)では、温排水の影響による水温上昇域の把握と取放水に伴い海 洋環境が変化していないかを確認することを、海生生物調査項目 (卵・稚仔、プランクトン、海藻草類、底生生物)では、温排水の影響により発電所前面海域において海生生物が変化していないかを確認 することを目的としています。

本報告書は、青森県及び東北電力株式会社が令和7年4月から6月までの令和7年度第1四半期において実施した原子力施設前面海域及び周辺海域における水温・塩分等の海洋環境と卵・稚仔等の海生生物の調査結果をとりまとめたものです。

令和7年11月 青森県

### 目 次

1. 調	<b>耆査概</b>	要																						
(1)	調査	機関	1																					1
(2)	調査	期間	]																					1
(3)	調査	項目	۱																					1
(4)	調査	位置	İ																					2
(5)	調査	結集	ŧの	概	要.																			10
2. 東	<b>運通</b> 原	子力	〕発	電	所原	引辺	!海:	域(	にも	h 1:	ける	海	域	;環	境	調	査	結	果					
																		[ †	<b>手</b> 森	,	!	₹施	分]	]
(1)	水温	. • 塩	5分																					12
3. 東	<b>運</b> 原	子力	〕発	電	所育	<b>介面</b>	海	域(	にす	b 17	ける	海	域	環					_	lat.	٠.	- 14-	<i>.</i>	
(1)	取放	水温	且度												-			_ `	- •	• • •		₹施 		-
(2)	水温	. • 塩	氢分																					21
(3)	流	兄																						28
(4)	水質	質																					·	29
(5)	底質	質		• •																			•	31
(6)	卵 •	稚仔	<u>.</u>																					33

( 7	7)プランクトン	36
3)	B) 海藻草類	40
( (	9)底生生物(メガロベントス)	42
資	料編	
1.	青森県実施分	45
2.	東北電力(株)実施分	47

#### 1. 調査概要

#### (1) 調査機関

青森県・地方独立行政法人 青森県産業技術センター水産総合研究所 東北電力株式会社

#### (2) 調査期間

青森県:令和7年6月13日

東北電力(株):令和7年4月1日~6月30日

なお、今回の調査は発電所停止中に実施したものである。

注 1) 発電所停止中とは、発電所稼働前や定期検査等の理由により、調査時の電気出力が OkW となっていることを示す。

注 2) 発電所稼働中とは、調査時の電気出力が確認されていることを示す。

#### (3) 調査項目

調査項目を表-1.1~1.2に示す。

表-1.1 調査項目 [青森県実施分]

調	査 項 目	調査目的	調査点数	調査水深
海洋環境	水温・塩分	温排水の影響による水温 上昇域を確認する。	5 点	表層、10、20、30、50m

表-1.2 調査項目 [東北電力(株)実施分]

	調	査 項 目	調査目的	調査点数	調査水深		
	取放水温度		取放水温度差が 7℃以下で あることを確認する。	取水口おる	よび放水口		
	水温・塩分		温排水の影響による水温上 昇域を確認する。	19 点	0.5m、1~10mまで1m間隔、 15m、20m、海底上2m		
	流 況 (流向・流速)		取放水に伴い、周辺海域の 海水流動が変化していない ことを確認する。	2 点	2m		
		水素イオン濃度 (pH)					
		化学的酸素要求量 (COD)					
, <u>,</u>		溶存酸素量 (D0)					
海	水	塩分	  -   取放水に伴い、水質が過年		0.5m, 5m,		
洋		透明度	皮と比較して変化していな   いことを確認する。	8点	水深 21m未満の場合は海底上 1m、水深 21m以深の場合は海面下 20m		
環	質	浮遊物質量 (SS)	C C HERD 7 O				
境		水温					
		全窒素 (T-N)					
	全リン (T-P)						
		化学的酸素要求量 (COD)					
	底	強熱減量 (IL)	│ │取放水に伴い、底質が過年 │度と比較して変化していな	3 点	海底		
	質	全硫化物 (T-S)	いことを確認する。	0 M	冲 尽		
	粒度組成						
		卵・稚仔		6 点	0.5m, 5m		
海生		動物プランクトン	温排水の影響により、発電 所前面海域において出現種 や出現量が過年度と比較し	6 点	0~5m、 水深 21m未満の場合は 5m~ 海底上 1m、水深 21m以深の 場合は 5~20m		
生物	クトン	   植物プランクトン 	て変化していないことを確認する。		0.5m, 5m		
		■藻草類、底生生物 (メガロベントス)		4 測線	水深 20m以浅		

#### (4) 調査位置

調査位置図を図-1.1~1.7に示す。調査海域は、東通原子力発電所から 南偏した調査点を設定した。

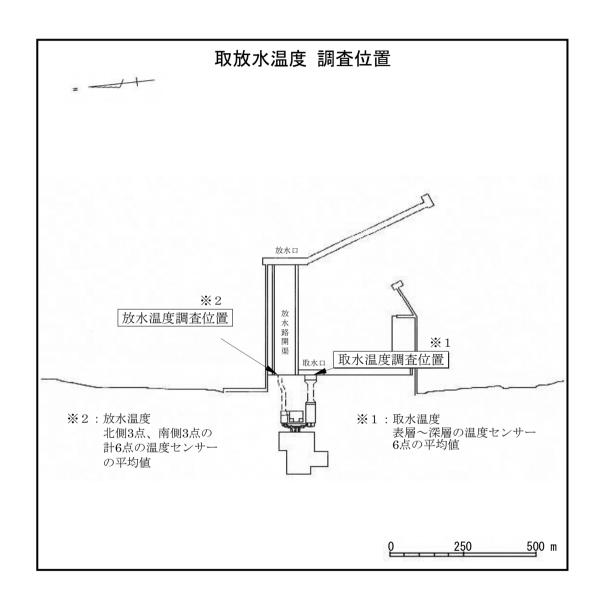
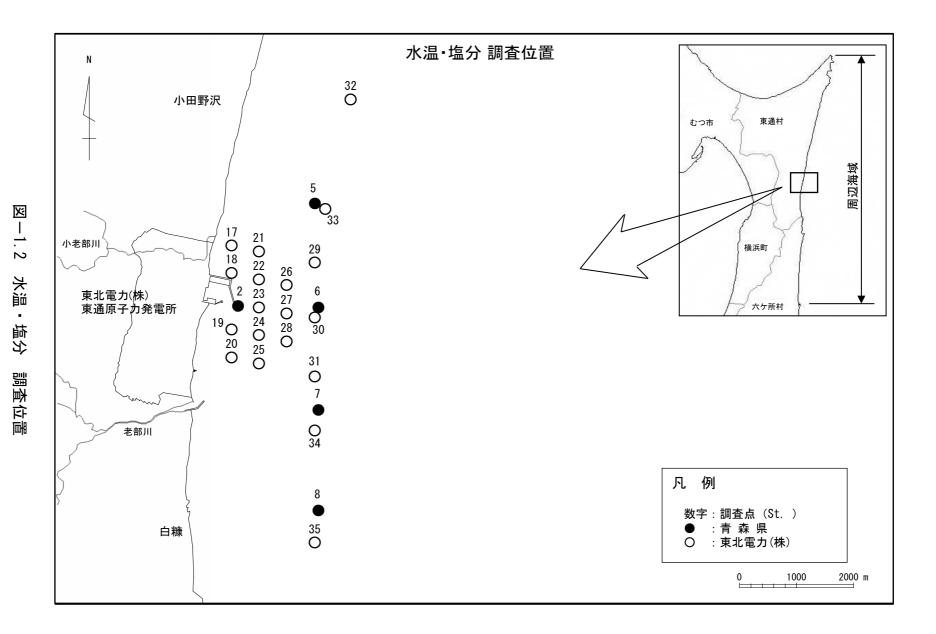
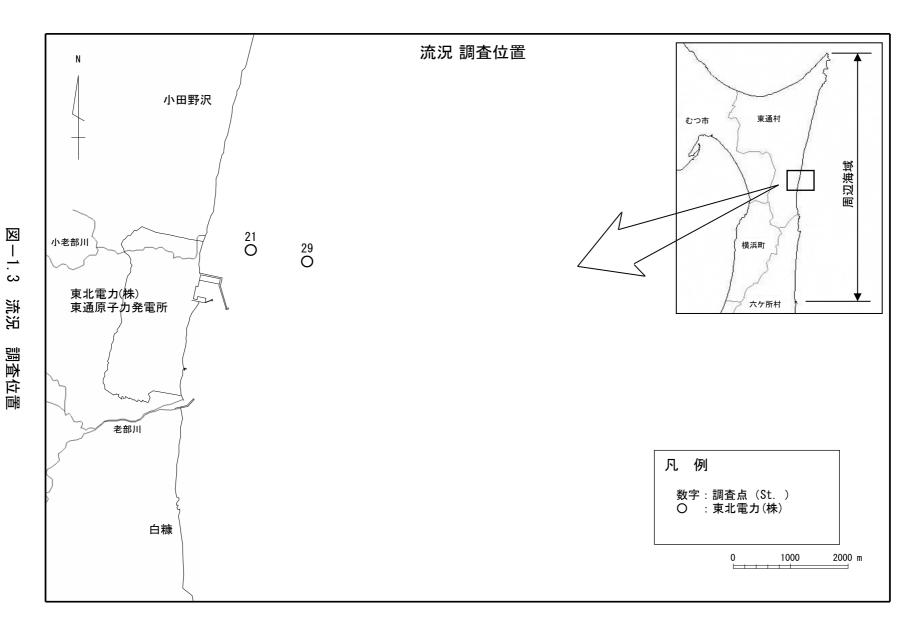
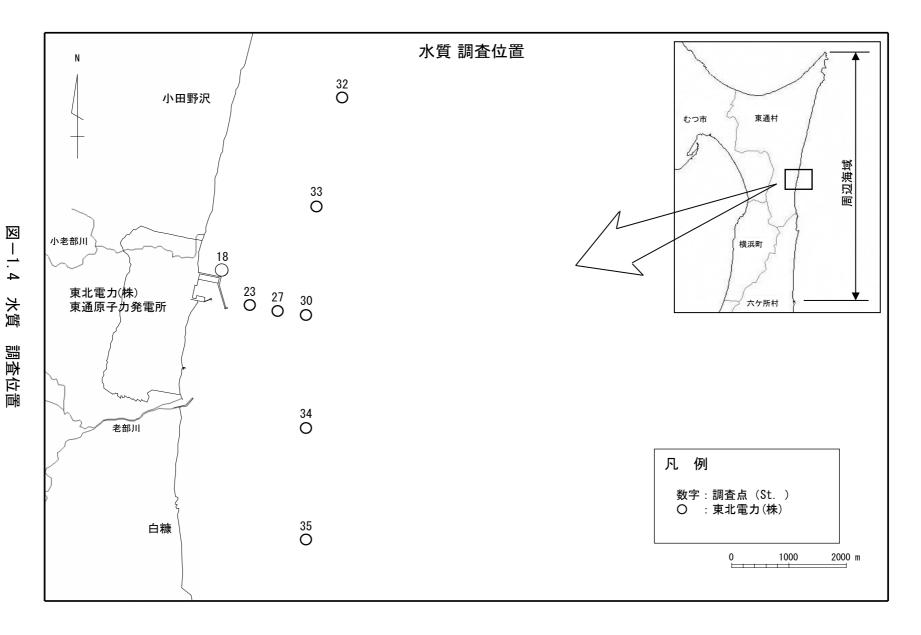
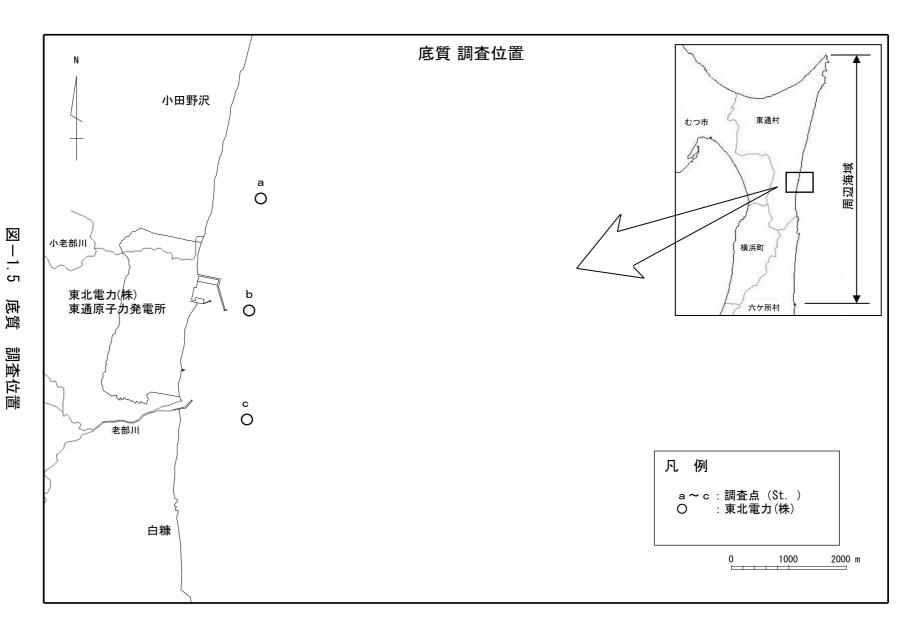


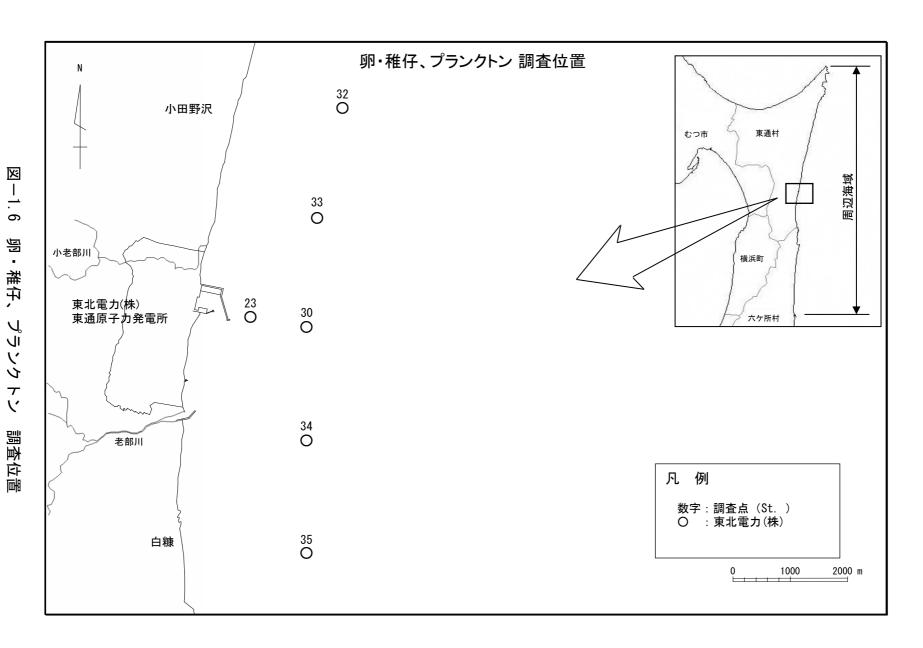
図-1.1 取放水温度 調査位置

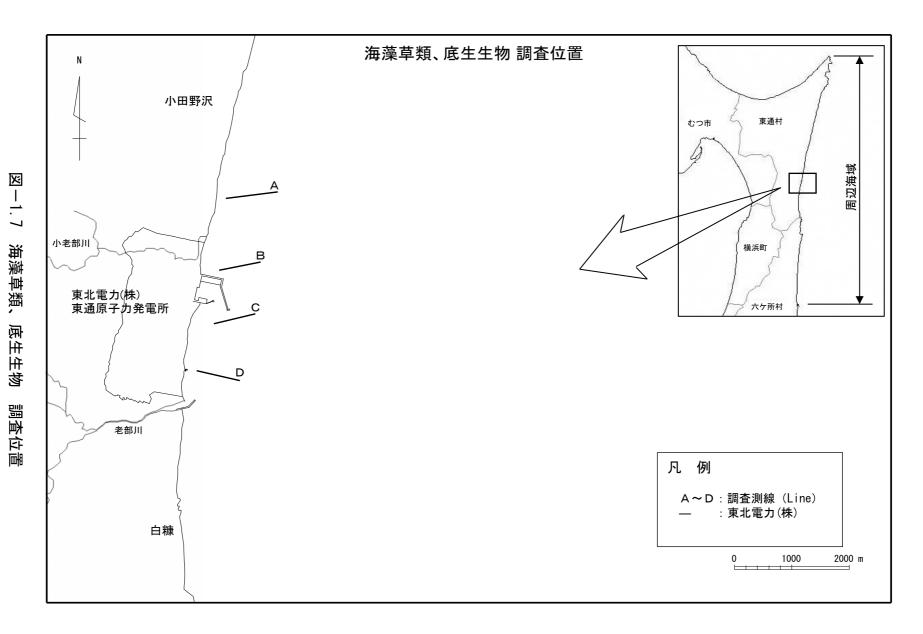












#### (5) 調査結果の概要

今期の調査において、青森県実施分及び東北電力実施分ともに温排水の影響と考えられる結果は観測されなかった。

なお、今期の調査は発電所停止中の調査であった。

#### a. 青森県実施分

令和7年度第1四半期(令和7年6月13日)に青森県が実施した調査結果の概要は、以下のとおりであった。

#### (a) 水温·塩分

全5 調査点において、水温・塩分の測定を行った。水温は、表層、 全体、水温較差において過去同期の停止中の範囲内にあった。 なお、塩分は、海域全体で一様であった。

#### b. 東北電力(株)実施分

令和7年度第1四半期(令和7年4月1日~6月30日)に、東北電力(株)が実施した調査結果の概要は、以下のとおりであった。

(a) 取放水温度

調査期間を通じて、取放水温度差は、7℃以内に収まっていた。

(b) 水温·塩分

全 19 調査点において、水温・塩分の測定を行った。水温は、0.5m層、全体、水温較差において過去同期の停止中の範囲内にあった。 なお、塩分は、海域全体で一様であった。

(c) 流況

全2調査点における流向別流速出現頻度は、過去同期と同様の傾向であった。

(d) 水質

全8調査点において採水し、水質分析を行い、水素イオン濃度(pH)、溶存酸素量(D0)、塩分、透明度、浮遊物質量(SS)、水温、全窒素(T-N)、全リン(T-P)は、過去同期の範囲内にあった。化学的酸素要求量(COD)は、酸性法では過去同期の範囲内にあったが、アルカリ性法では過去同期の範囲を上回っていた。

#### (e) 底質

全3調査点において採泥し、底質分析を行い、全調査点において、 化学的酸素要求量(COD)、強熱減量(IL)、全硫化物(T-S)は、過去 同期の範囲内にあった。粒度組成は、St.a及びSt.cにおいて過去同 期の範囲内にあったが、St.bにおいて細砂が過去同期の範囲を下回っ ていた。

#### (f) 卵·稚仔

卵の出現種類数、出現平均個数は、過去同期と同様の傾向であった。 稚仔の出現種類数、出現平均個体数は、過去同期の範囲を上回っていたが、過去と同様の出現傾向にあり、変化はみられなかった。

(g) プランクトン

動物プランクトンの出現種類数、出現平均個体数は、過去同期と同様の傾向であった。

植物プランクトンの出現種類数、出現平均細胞数は、過去同期と同様の傾向であった。

(h) 海藻草類、底生生物

海藻草類の出現種類数は、過去同期と同様の傾向であった。 底生生物の出現種類数、出現平均個体数は、過去同期と同様の傾向で あった。

#### 2. 東通原子力発電所周辺海域における海域環境調査結果

[青森県実施分]

#### (1) 水温·塩分

調査位置: St. 2、5~8 (5 調査点、図-1.2 参照)

発電所稼働状況:停止中

#### a. 水温

#### (a) 水温 (表層)

表層における水温水平分布を図ー2.1 に、過去同期の水温範囲を表ー2.1 に示す。

今期の表層における水温は 12.9℃~13.1℃の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

なお、表層における水温の経年変化は図-2.2に示す。

#### (b) 水温(全体)

水温鉛直分布を図ー2.3 に、全体(50m層まで)における過去同期の水温範囲を表ー2.2 に示す。

今期の全体における水温は 11.9℃~13.1℃の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

#### (c)水温較差

表層における放水口前面 (St. 2) と発電所周辺 (St. 5~8) の水温較差を表-2.3に、過去同期の水温較差の範囲を表-2.4に示す。

今期の水温較差は-0.1℃~0.1℃の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

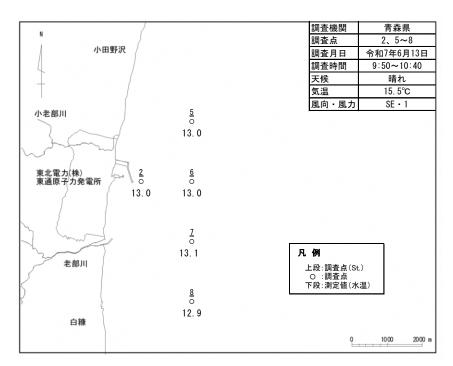


図-2.1 水温水平分布図 (表層)

表-2.1 過去同期の水温範囲 (表層)

(単位:℃)

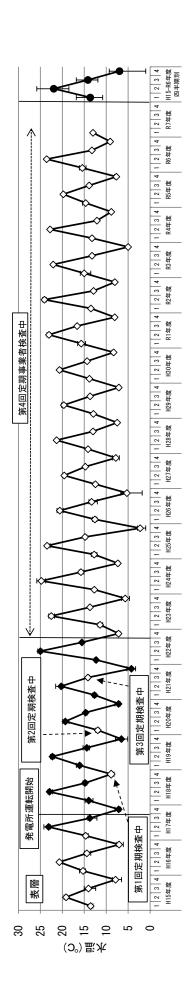
調査時期	第1四半期				
発電所停止中	10.8~16.5				
発電所稼働中	12.0~16.4				

- 注 1) 発電所停止中の水温範囲は、平成 15 年度~平成 17 年度、平成 20 年度、平成 23 年度 ~令和 6 年度のものである。
- 注 2) 発電所稼働中の水温範囲は、平成 18 年度~平成 19 年度、平成 21 年度~平成 22 年度 のものである。

表-2.2 過去同期の水温範囲(全体)

調査時期	第1四半期
発電所停止中	10.0~16.5
発電所稼働中	11.0~16.4

- 注 1) 青森県実施分における全体の水温は、水深 50m層までを集計している。
- 注 2) 発電所停止中の水温範囲は、平成 15 年度~平成 17 年度、平成 20 年度、平成 23 年度 ~令和 6 年度のものである。
- 注 3) 発電所稼働中の水温範囲は、平成 18 年度~平成 19 年度、平成 21 年度~平成 22 年度 のものである。



←最大値

図-2.2 水温の経年変化(表層)

←平均値 ←最小値

> 過年 全期間

発電子 停止中

> 発電所 稼働中

14

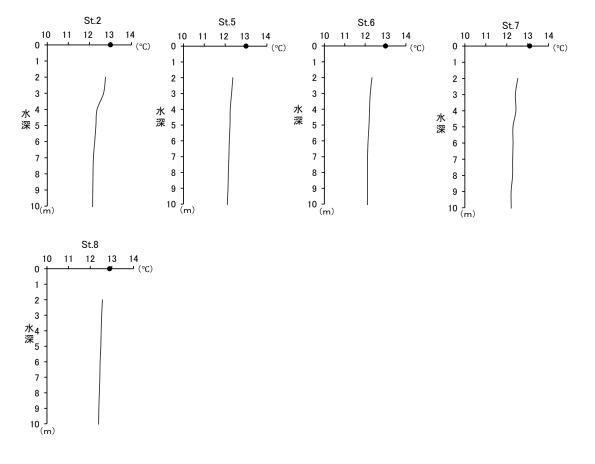


図 - 2.3 (1) 水温鉛直分布図 (水深 10m 以浅) 注 1) 表層 (●で示したもの) は採水データ、それ以外はCTDデータ。

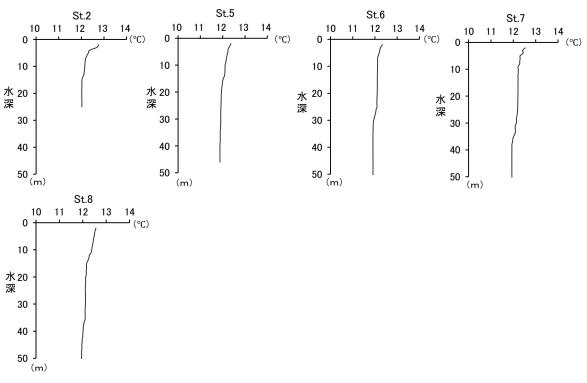


図-2.3(2) 水温鉛直分布図(全体)

#### 表-2.3 放水口前面と発電所周辺の水温較差 (表層)

(単位:℃)

比較調査点	St. 2 との 水温較差
St. 5	0.0
St. 6	0.0
St. 7	-0.1
St. 8	0. 1

#### 表-2.4 過去同期の水温較差範囲(表層)

調査時期	第1四半期
発電所停止中	-2. 4 <b>~</b> 1. 8
発電所稼働中	-0.5 <b>~</b> 0.4

- 注 1) 発電所停止中の水温較差範囲は、平成 15 年度~平成 17 年度、平成 20 年度、平成 23
- 年度~令和 6 年度のものである。 注 2) 発電所稼働中の水温較差範囲は、平成 18 年度~平成 19 年度、平成 21 年度~平成 22 年度のものである。

#### b. 塩 分

表層における塩分水平分布を図-2.4 に示す。表層における塩分は全調査点で33.8 であった。

また、塩分鉛直分布を図-2.5 に示す。全体の塩分は 33.8~33.9 であった。

塩分は、海域全体で一様であった。

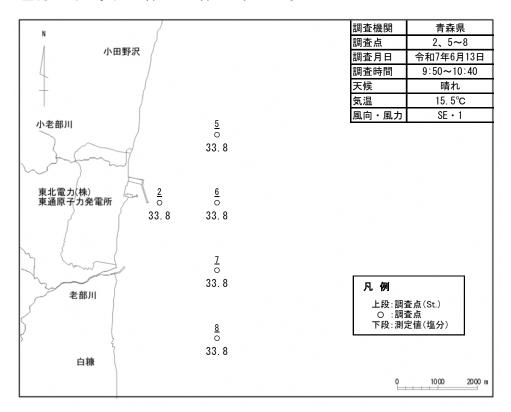


図-2.4 塩分水平分布図 (表層)

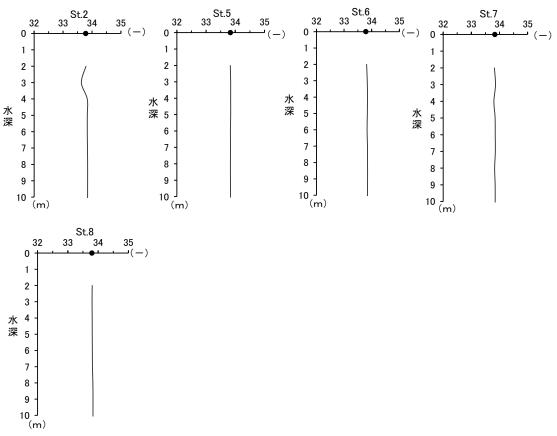


図 - 2.5 (1) 塩分鉛直分布図 (水深 10m 以浅) 注 1) 表層 (●で示したもの) は採水データ、それ以外はCTDデータ。

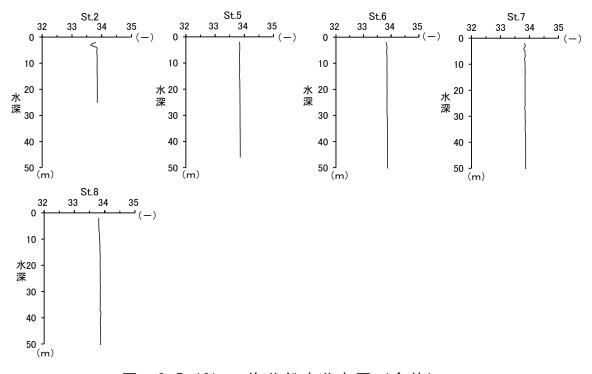


図-2.5(2) 塩分鉛直分布図(全体)

# 3. 東通原子力発電所前面海域における海域環境調査結果 [東北電力(株)実施分]

#### (1) 取放水温度

調査位置:取水口、放水口(2調査点、図-1.1参照)

発電所稼働状況:停止中

調査結果を表ー3.1に示す。

取水口の水温は、 $8.2^{\circ}$ C~ $16.5^{\circ}$ Cの範囲であり、月毎の平均値は  $9.6^{\circ}$ C~ $14.5^{\circ}$ Cの範囲であった。

放水口の水温は、8.6℃~18.1℃の範囲であり、月毎の平均値は 10.0℃~15.6℃の範囲であった。

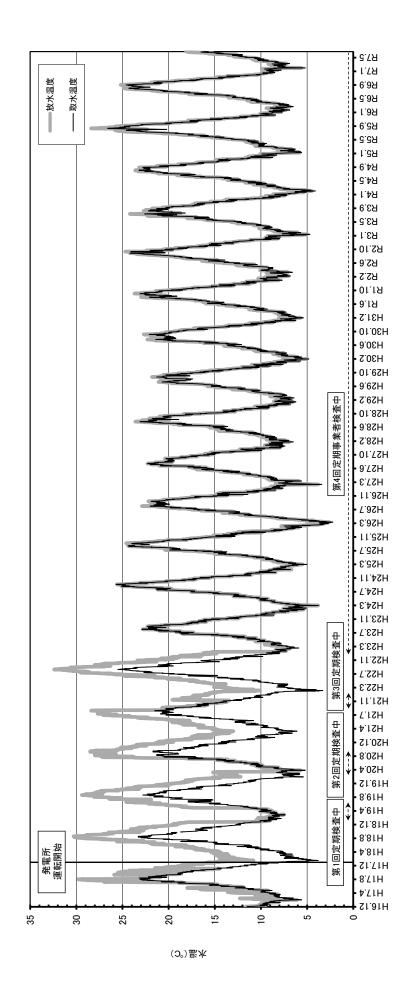
なお、取放水温度における経年変化は図-3.1に示す。

表一3.1 取放水温度調査結果

			\ -	· 四. C/
	年月		令和7年	
項目		4 月	5 月	6 月
	最大値	10.4	13. 1	16.5
取水口	最小値	8. 2	10.1	12.0
	月毎の平均値	9.6	11. 7	14.5
	最大値	10.9	13.6	18. 1
放水口	最小値	8. 6	10.6	12.6
	月毎の平均値	10.0	12. 2	15.6

注1)水温は、日平均値である。

注 2) 放水口の温度上昇は、発電所安全維持に必要な機器の冷却のため、海水と熱交換していることによる。



図一3.1 取放水温度における経年変化(日平均)

#### (2) 水温·塩分

調査位置: St. 17~35(19調査点、図-1.2参照)

発電所稼働状況:停止中

#### a. 水 温

#### (a) 水温(0.5m層)

0.5m層における水温水平分布を図ー3.2 に、過去同期の水 温範囲を表ー3.2 に示す。

今期の 0.5m層における水温は 11.6℃~12.3℃の範囲であり、 過去同期の停止中の範囲内にあった。

なお、0.5m層における水温の経年変化は図-3.3に示す。

#### (b) 水温(全体)

水温鉛直分布を図-3.4 に、全体(20m層まで)における過去同期の水温範囲を表-3.3 に示す。

今期の全体における水温は 11.3℃~12.3℃の範囲であり、 過去同期の停止中の範囲内にあった。

#### (c) 水温較差

放水口前面(St. 22、23)と発電所周辺(St. 29~35)の水温を比較した調査点の位置関係を図-3.5 に、0.5m層における水温較差を表-3.4 に、過去同期の水温較差の範囲を表-3.5 に示す。

今期の水温較差は-0.7℃~0.1℃の範囲であり、過去同期の停止中の範囲内にあった。

#### (d)調査時の流れ

調査前日から調査当日の流れは、北流~南流傾向がみられた。 調査時は北流傾向を示していた。

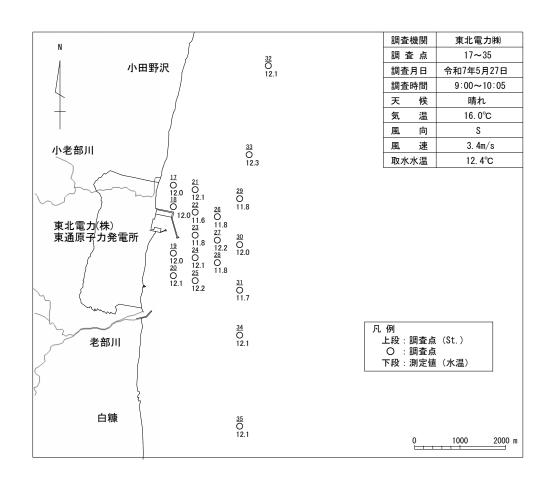


図-3.2 水温水平分布図(0.5m層)

表-3.2 過去同期の水温範囲(0.5m層)

(単位:℃)

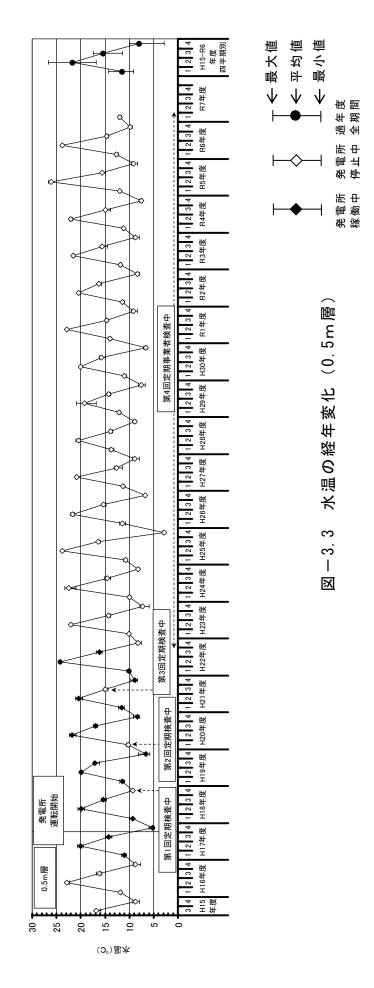
調査時期	第1四半期
発電所停止中	9.7~14.3
発電所稼働中	9.1~12.2

- 注 1) 発電所停止中の水温範囲は、平成 16 年度、平成 20 年度、平成 23 年度~令和 6 年度の ものである。
- 注 2) 発電所稼働中の水温範囲は、平成 17 年度~平成 19 年度、平成 21 年度~平成 22 年度の ものである。

表-3.3 過去同期の水温範囲(全体)

調査時期	第1四半期
発電所停止中	9.3~14.3
発電所稼働中	8.7~12.2

- 注 1) 東北電力(株)実施分における全体の水温は、水深 20m層までを集計している。
- 注 2) 発電所停止中の水温範囲は、平成 16 年度、平成 20 年度、平成 23 年度~令和 6 年度の ものである。
- 注 3) 発電所稼働中の水温範囲は、平成 17 年度~平成 19 年度、平成 21 年度~平成 22 年度の ものである。



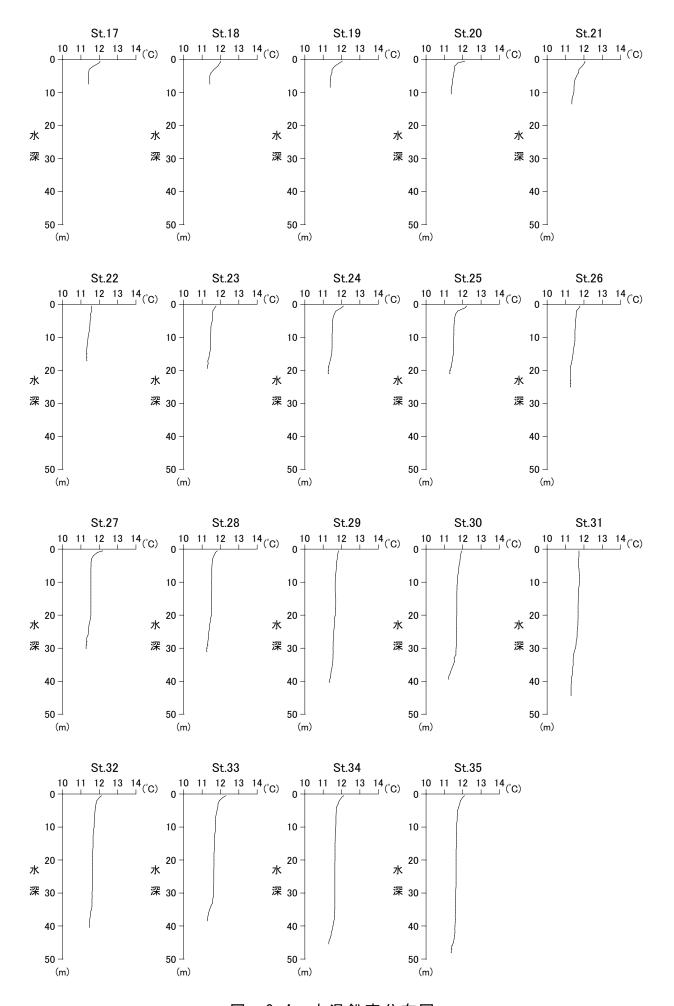


図-3.4 水温鉛直分布図

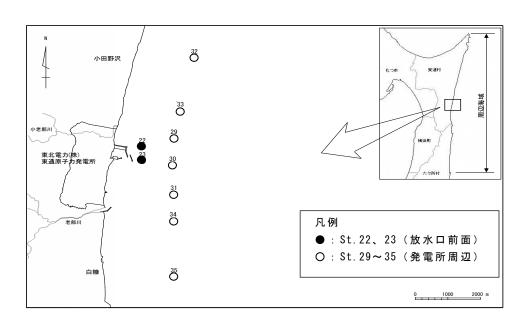


図-3.5 水温を比較した調査点の位置関係

#### 表-3.4 放水口前面と発電所周辺の水温較差(0.5m層)

(単位:℃)

		(+12.0)
比較調査点	St.22 との 水温較差	St.23 との 水温較差
St. 29	-0.2	0.0
St. 30	-0.4	-0.2
St. 31	-0.1	0.1
St. 32	-0.5	-0.3
St. 33	-0.7	-0.5
St. 34	-0.5	-0.3
St. 35	-0.5	-0.3

表-3.5 過去同期の水温較差範囲(0.5m層)

調査時期	第1四半期
発電所停止中	-1.0 <b>~</b> 0.7
発電所稼働中	-0.3 <b>~</b> 1.0

- 注 1) 発電所停止中の水温較差範囲は、平成 16 年度、平成 20 年度、平成 23 年度~令和 6 年度の ものである。
- 注 2) 発電所稼働中の水温較差範囲は、平成 17 年度~平成 19 年度、平成 21 年度~平成 22 年度の ものである。

#### b. 塩 分

0.5m層における塩分水平分布を図-3.6 に示す。0.5m層における塩分は33.4~33.8の範囲であった。

また、塩分鉛直分布を図-3.7 に示す。全体の塩分は 33.4~33.8 の範囲であった。

塩分は、海域全体で一様であった。

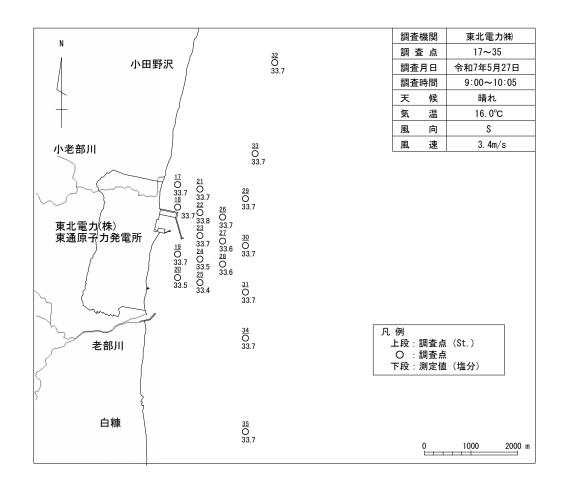


図-3.6 塩分水平分布図 (0.5m層)

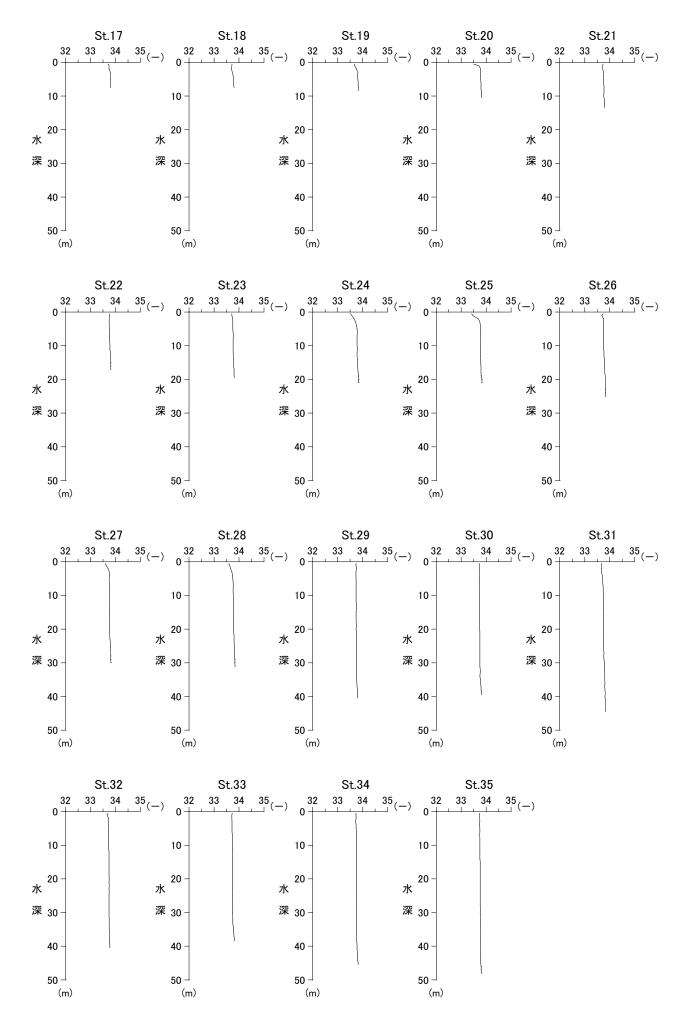


図-3.7 塩分鉛直分布図

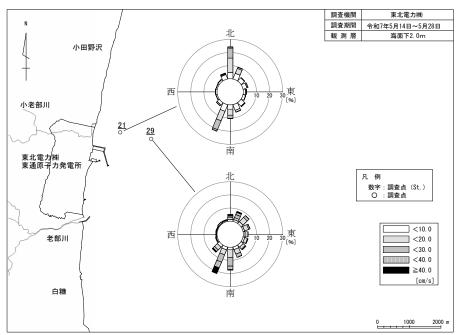
#### (3) 流 況

調査位置: St. 21、29 (2調査点、図-1.3参照)

#### 発電所稼働状況:停止中

今期の流向別流速出現頻度を図-3.8 に、過去同期の流向別流速出現頻度を図-3.9 に示す。流向は、汀線にほぼ平行な流れで北及び南~南南西が卓越しており、流速は 30cm/s までが大部分を占めている。

過去同期と同様の傾向であった。



注1)流向は流れて行く方向を示し、風向とは逆を示す。

図-3.8 流向別流速出現頻度

- 注 1) 流向は流れて行く方向を示し、風向とは逆を示す。
- 注 2) 過去同期の流向別流速出現頻度は、平成 16 年度~令和 6 年度のも のである。

図-3.9 過去同期の流向別流速出現頻度

#### (4) 水 質

調査位置: St. 18、23、27、30、32~35(8調査点、図-1.4参照) 発電所稼働状況: 停止中

調査結果を表-3.6 に、過去同期の調査結果範囲を表-3.7 に示す。

表 - 3.6 水質調査結果

調査年月日:令和7年5月27日調査機関:東北電力(株)

			<b>阿丑阪</b>	. 木和电刀	\ 1 <b>/\</b> /
調査項		単位	最大値	最小値	平均値
水素イオン濃度 (pH)		_	8. 0	8. 0	8.0
化学的酸素要求量 (COD)	酸性法	mg/L	2. 4	1.0	1.3
	アルカリ性法	mg/L	<u>1. 1</u>	0.4	0.5
溶存酸素量 (D0)		mg/L	10. 2	8. 7	9.4
塩 分		_	34.0	33. 7	33. 9
透明度		m	15.0	11.5	13.3
浮遊物質量(SS)		mg/L	1	<1	1
水温		°C	12.3	11. 3	11.8
全窒素(T-N)		mg/L	0.16	0.09	0. 12
全リン(T-P)		mg/L	0.017	0.012	0.014

- 注 1) 結果欄中の「〈」は定量下限未満の値を示す。
- 注 2) 透明度以外の「平均値」の算出にあたって、定量下限未満の値は定量下限値 として計算した。
- 注3)透明度の最小値、平均値の算出には、着底した値を含めていない。
- 注 4) 下線部は、過去同期の範囲外の値であることを示す。

表-3.7 過去同期の水質調査結果範囲

調査項目		単位	第1四半期	
水素イオン濃度(pH)		_	7.9~8.2	
化学的酸素要求量 (COD)	酸性法	mg/L	0.2~2.8	
	アルカリ性法	mg/L	<0.1~0.7	
溶存酸素量 (D0)		mg/L	8.5~10.9	
塩 分		1	33. 2~34. 1	
透明度		m	6.0~19.0	
浮遊物質量 (SS)		mg/L	<1∼4	
水温		°C	8.7~14.3	
全窒素(T-N)		mg/L	0.07~0.45	
全リン(T-P)		mg/L	0.008~0.035	

- 注1) 結果欄中の「〈」は定量下限未満の値を示す。
- 注 2) 透明度の最小値には、着底した値を含めていない。
- 注3)過去同期の調査結果範囲は、平成16年度~令和6年度の ものである。

#### a. 水素イオン濃度 (pH)

8.0であり、過去同期の範囲内にあった。

#### b. 化学的酸素要求量(COD)

酸性法では  $1.0 \text{mg/L} \sim 2.4 \text{mg/L}$  であり、過去同期の範囲内にあった。アルカリ性法では  $0.4 \text{mg/L} \sim 1.1 \text{mg/L}$  の範囲であり、過去同期の範囲を上回っていた。

#### c. 溶存酸素量 (D0)

8. 7mg/L~10. 2mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### d. 塩 分

33.7~34.0の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### e. 透明度

11.5m~15.0mの範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### f. 浮遊物質量 (SS)

定量下限値未満~1mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### g. 水 温

11.3℃~12.3℃の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### h. 全窒素 (T-N)

0.09mg/L~0.16mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### i. 全リン (T-P)

0.012mg/L~0.017mg/L の範囲であり、過去同期の範囲内にあった。

#### (5) 底 質

調査位置: St. a~c(3調査点、図-1.5参照)

発電所稼働状況:停止中

調査結果を表-3.8 に、過去同期の調査結果範囲を表-3.9 に示す。

表 - 3.8 底質調査結果

調査年月日: 令和7年5月23日調査機関: 東北電力(株)

	調査項目	単位	St.a	St.b	St.c
化学的	酸素要求量 (COD)	mg/g 乾泥	0.6	0.5	0.3
強熱減	量(IL)	%	2. 3	2.5	1.3
全硫化	物 (T-S)	mg/g 乾泥	<0.01	<0.01	<0.01
	礫 (2.000 mm以上)		18.1	1.9	0.0
	粗砂(0.425~2.000 mm未満)	%	73.8	10.9	0. 1
粒度組成	細砂 (0.075~0.425 mm未満)		4. 9	<u>83. 3</u>	97. 2
_	シルト (0.005~0.075 mm未満)		0.8	1.3	0.1
	粘土・コロイド (0.005 mm未満)		2. 4	2.6	2. 6

- 注1) 結果欄中の「〈」は定量下限未満の値を示す。
- 注2)強熱減量と粒度組成は、重量百分率で示した。
- 注3) 粒度組成については、細砂の割合を確認している。
- 注 4) 下線部は、過去同期の範囲外の値であることを示す。

表-3.9 過去同期の底質調査結果範囲

	調査項目		第1四半期			
砂丘块口		単位	St. a	St.b	St. c	
化学的酸素要求量 (COD)		mg/g 乾泥	0.2~1.9	0.3~0.8	0.1~0.5	
強熱減量 (IL)		%	1.5~6.9	1.5~5.0	1.0~3.0	
全硫化物 (T-S)		mg/g 乾泥	<0.01 <0.01 ~0.01		<0.01	
	礫 (2.000 mm以上)	_	0.1~43.0	0.0~0.8	0.0~0.1	
	粗砂(0.425~2.000 mm未満)		2.0~93.9	0.2~11.3	0.0~0.4	
粒度組成	細砂 (0.075~0.425 mm未満)	%	0.2~97.3	84.7 <b>~</b> 98.6	92.4~99.4	
	シルト (0.005~0.075 mm未満)		0.0~1.9	0.0~1.5	0.1~3.7	
	粘土・コロイド (0.005 mm未満)		0.5~2.7	0.5~3.6	0.2~3.8	

- 注 1) 結果欄中の「〈」は定量下限未満の値を示す。
- 注 2) 強熱減量と粒度組成は、重量百分率で示した。
- 注3) 粒度組成については、細砂の割合を確認している。
- 注 4) 過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度~令和 6 年度のものである。

#### a. 化学的酸素要求量(COD)

St. a において 0.6mg/g 乾泥、St. b において 0.5mg/g 乾泥、St. c において 0.3mg/g 乾泥を示し、過去同期の範囲内にあった。

# b. 強熱減量(IL)

St. a において 2.3%、St. b において 2.5%、St. c において 1.3%を示し、過去同期の範囲内にあった。

#### c. 全硫化物 (T-S)

全調査点において定量下限値未満であり、過去同期の範囲内にあった。

#### d. 粒度組成

細砂が St.a において 4.9%、St.b において 83.3%、St.c において 97.2%の分布であり、St.a 及び St.c は過去同期の範囲内にあった。St.b は過去同期の範囲を下回っていた。

#### (6) 卵·稚仔

調査位置: St. 23、30、32~35(6調査点、図-1.6参照)

発電所稼働状況:停止中

#### a. 卵

調査結果を表 - 3.10 に、過去同期における調査結果範囲を表 - 3.11 に、主な出現種の状況を表 - 3.12 に示す。

今期の出現種類数は8種類、出現した平均個数は377個/1,000m³、 主な出現種は単脂球形不明卵 1 等であり、過去同期と同様の傾 向であった。

表 - 3.10 卵調査結果

調査年月日:令和7年5月27日調査機関:東北電力(株)

出現種類数	8					
平均個数 (個/1,000m³)	377					
主な出現種	単脂球形不明卵 1 無脂球形不明卵 1	62.6% 32.3%				

注1) 主な出現種は、総個数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。

表-3.11 過去同期の卵調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	0~13
平均個数 (個/1,000m³)	0~982

注 1) 過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度~令和 6 年度のものである。

表-3.12 卵調査における主な出現種の状況

調査時期		第1四半期							
年度	運転開始前	H17-R2		R3	R4	R5	5	R7	
	H16		1/-	(2	КS	K4	Ko	R6	K/
コノシロ		1	/	2					
カタクチイワシ		2	/	4	0	0	0	0	0
キュウリエソ		3	/	13		0	0		0
スケトウダラ		1	/	1					
ネズッポ科	0	2	/	3					
メイタガレイ属		1	/	9		0	0	0	0
カレイ科	0	4	/	6					

- 注1)年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。
- 注 2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現した ことを示す。
- 注3) 平成17年度~令和2年度の16年間は、それぞれの出現状況を (主な出現種に計上された回数)/(調査で出現した回数)で示す。
- 注 4) 不明卵は、種が特定できないため除外した。

# b. 稚 仔

調査結果を表 - 3.13 に、過去同期における調査結果範囲を表 - 3.14 に、主な出現種の状況を表 - 3.15 に示す。

今期の出現種類数は14種類、出現した平均個体数は142個体/1,000m³、主な出現種はメバル属等であった。出現種類数及び平均個体数は過去同期の範囲を上回っていたが、過去と同様の出現傾向にあり、変化はみられなかった。

表 - 3.13 稚仔調査結果

調査年月日:令和7年5月27日調査機関 : 東北電力(株)

出現種類数	<u>14</u>				
平均個体数 (個体/1,000m³)	142				
主な出現種	メバル属 キツネメバル ウスメバル	65. 2% 14. 9% 6. 4%			

- 注1) 主な出現種は、総個体数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。
- 注 2) 出現種類数及び平均個体数における下線部は、過去同期の範囲外の値であることを示す。

表-3.14 過去同期の稚仔調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	0~13
平均個体数 (個体/1,000m³)	0~50

注1)過去同期の調査結果範囲は、平成16年度~令和6年度のものである。

表-3.15 稚仔調査における主な出現種の状況

調査時期				第1	四半期	月			
年度	運転開始前 H16	Н	17-F	R2	R3	R4	R5	R6	R7
カタクチイワシ		1	/	3	0			0	0
スケトウダラ	0	4	/	7					0
イカナゴ	0	2	/	7	0	0			
ハゼ科		2	/	4		0	0	0	0
ヘビギンポ科		1	/	1					
イソギンポ科		1	/	1					
ムスジガジ	0	1	/	1					
タウエガジ科		4	/	6		0		0	0
ギンポ		1	/	1					
ウスメバル	0	2	/	5	0	0	0	0	0
キツネメバル		3	/	7	0	0	0	0	0
ムラソイ		2	/	10	0	0	0	0	0
メバル属	0	10	/	10	0	0	0	0	0
カジカ科		1	/	2		0			
クサウオ科	_	2	/	2		0			
マコガレイ		2	/	3	0				0
カレイ科	·	1	/	3		0		·	

注1)年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注 2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現した ことを示す。

注3) 平成17年度~令和2年度の16年間は、それぞれの出現状況を(主な出現種に計上された回数)/(調査で出現した回数)で示す。

#### (7) プランクトン

調査位置: St. 23、30、32~35(6調査点、図-1.6参照)

**発電所稼働状況:停止中** 

#### a. 動物プランクトン

調査結果を表 - 3.16 に、過去同期における調査結果範囲を表 - 3.17 に、主な出現種の状況を表 - 3.18 に示す。

今期の出現種類数は 43 種類、出現した平均個体数は 5, 120 個体/m³、主な出現種は nauplius of COPEPODA 等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表-3.16 動物プランクトン調査結果

調査年月日: 令和7年5月27日調査機関: 東北電力(株)

出現種類数	43						
平均個体数 (個体/m³)	5, 120						
主な出現種	節足動物	nauplius of COPEPODA copepodite of <i>Oithona</i> copepodite of <i>Pseudocalanus</i> copepodite of <i>Paracalanus</i>	48.8% 13.6% 10.5% 9.7%				

注1) 主な出現種は、総個体数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。

表-3.17 過去同期の動物プランクトン調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	28~52
平均個体数 (個体/m³)	2, 216~40, 681

注 1) 過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度~令和 6 年度のものである。

表-3.18 動物プランクトン調査における主な出現種の状況

調査時期				第1	四半其	月			
年度	運転開始前	ш	U17 D0		R3	R4	R5	R6	
<b>平</b> 及	H16	H17-R2		Кδ	K4	Rΰ	Rυ	R7	
Parafavella denticulata	0	1	/	5	0	0	0	0	0
copepodite of <i>Paracalanus</i>	0	3	/	16	0	0	0	0	0
copepodite of <i>Clausocalanus</i>	0	2	/	16	0	0	0	0	0
copepodite of <i>Pseudocalanus</i>	0	15	/	16	0	0	0	0	0
Oithona similis	0	4	/	16	0	0	0	0	0
copepodite of <i>Oithona</i>	0	15	/	16	0	0	0	0	0
nauplius of COPEPODA	0	16	/	16	0	0	0	0	0
Fritillaria borealis		1	/	2		0			
Fritillaria sp.	0	1	/	13	0	0	0	0	0
Oikopleura sp.	0	2	/	13	0	0	0	0	0

- 注1)年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。
- 注 2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現した ことを示す。
- 注3) 平成17年度~令和2年度の16年間は、それぞれの出現状況を(主な出現種に計上された回数)/(調査で出現した回数)で示す。

# b. 植物プランクトン

調査結果を表 - 3.19 に、過去同期における調査結果範囲を表 - 3.20 に、主な出現種の状況を表 - 3.21 に示す。

今期の出現種類数は 54 種類、出現した平均細胞数は 337, 450 細胞/L、主な出現種は Leptocyl indrus danicus 等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表-3.19 植物プランクトン調査結果

調査年月日: 令和7年5月27日調査機関: 東北電力(株)

出現種類数	54							
平均細胞数 (細胞/L)	337, 450							
主な出現種	黄色植物	Leptocylindrus danicus Cerataulina pelagica	53.1% 6.6%					
	クリプト植物	CRYPTOPHYCEAE	7.5%					

注1) 主な出現種は、総細胞数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。

表-3.20 過去同期の植物プランクトン調査結果範囲

調査時期	第1四半期		
出現種類数	25~76		
平均細胞数 (細胞/L)	2, 480~1, 439, 620		

注 1) 過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度~令和 6 年度のものである。

表-3.21 植物プランクトン調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期								
年度	運転開始前 H16	Н	17-F	R2	R3	R4	R5	R6	R7
CRYPTOPHYCEAE	0	11	/	16	0	0	0	0	0
Prorocentrum minimum		1	/	3					
GYMNODINIALES	0	1	/	16	0	0	0	0	0
PERIDINIALES	0	4	/	15	0	0	0	0	0
Leptocylindrus danicus	0	2	/	8	0	0	0	0	0
Leptocylindrus minimus	0	0	/	3	0	0	0	0	0
Thalassiosira sp.		3	/	15	0	0	0	0	0
THALASSIOSIRACEAE	0	2	/	11	0	0	0		0
Rhizosolenia fragilissima	0	9	/	15	0	0	0	0	0
Rhizosolenia phuketensis		1	/	12	0	0	0	0	0
Bacteriastrum varians		2	/	13	0	0	0		0
Chaetoceros compressum	0	0	/	12	0	0	0	0	0
Chaetoceros decipiens		1	/	11	0	0	0	0	0
Chaetoceros sociale	0	2	/	10	0	0	0	0	0
Cerataulina pelagica	0	5	/	12	0	0	0	0	0
Asterionella kariana		1	/	4					
Thalassionema nitzschioides	0	1	/	12	0	0	0	0	0
Neodelphineis pelagica		1	/	3				0	0
Nitzschia spp.		3	/	13	0	0	0	0	0
PRASINOPHYCEAE	0	4	/	16	0	0	0	0	0

注 1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注 2) 表中の ② は主な出現種に計上されたことを示し、 〇 は調査で出現した ことを示す。

注3) 平成17年度~令和2年度の16年間は、それぞれの出現状況を (主な出現種に計上された回数)/(調査で出現した回数)で示す。

注 4) 微小鞭毛藻類は、種が特定できないため除外した。

# (8) 海藻草類

調査位置:LineA~D(4調査測線、図-1.7参照)

発電所稼働状況:停止中

調査結果を表-3.22 に、過去同期の調査結果範囲を表-3.23 に、 主な出現種の状況を表-3.24 に示す。

今期の出現種類数は 62 種類で、主な出現種はサビ亜科等であり、 過去同期と同様の傾向であった。

表-3.22 海藻草類調査結果

調査年月日:令和7年5月14日~22日調査機関:東北電力(株)

出現種類数		62
	紅藻植物	サビ亜科 ユカリ
主な出現種	褐藻植物	マコンブ アカモク ケウルシグサ

注1) 主な出現種は、いずれかの調査測線で被度が25%以上のものとした。

表-3.23 過去同期の海藻草類調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	58 <b>~</b> 74

注 1) 過去同期の調査結果範囲は、平成 16 年度~令和 6 年度のものである。

表-3.24 海藻草類調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期								
年度	運転開始前	Н	17-F	R2	R3	R4	R5	R6	R7
スガモ	H16	4.4	,	10		_			
	0	11	/	16	0	0	0	0	0
アオサ属	0	2		16	0	0	0	0	0
フクリンアミジ	0	0	/	15	0	0	0	0	0
ウルシグサ	0	1	/	16	0	0	0	0	0
タバコグサ	0	3	/	15	0		0	0	0
ケウルシグサ	0	14	/	16	0	0	0	0	0
ワカメ	0	10	/	16	0	0	0	0	0
スジメ	0	7	/	16	0	0	0	0	0
マコンブ	0	16	/	16	0	0	0	0	0
ウガノモク	0	3	/	16	0	0	0	0	0
フシスジモク	0	1	/	16	0	0	0	0	0
アカモク	0	6	/	16	0	0	0	0	0
ダルス	0	1	/	16	0	0	0	0	0
ヤハズシコロ	0	3	/	16	0	0	0	0	0
サビ亜科	0	16	/	16	0	0	0	0	0
ヨレクサ	0	1	/	13	0	0	0	0	0
オバクサ	0	1	/	16	0	0	0	0	0
カギノリ	0	1	/	16	0	0	0	0	0
アカバギンナンソウ		8	/	12	0	0	0	0	0
クロトサカモドキ	0	3	/	12	0				
ハリガネ	0	8	/	16	0	0	0	0	0
ユカリ	0	0	/	16	0	0	0	0	0
サエダ	0	3	/	16	0	0	0		
イギス科	0	1	/	16	0	0	0	0	0
ハイウスバノリ属	0	9	/	16	0	0	0	0	0
ハブタエノリ	0	3	/	16	0	0	0	0	0
スズシロノリ	0	1	/	16	0	0	0	0	0

注1)年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。

注 2) 表中の◎は主な出現種に計上されたことを示し、○は調査で出現した ことを示す。

注3) 平成17年度~令和2年度の16年間は、それぞれの出現状況を (主な出現種に計上された回数)/(調査で出現した回数)で示す。

# (9) 底生生物 (メガロベントス)

調査位置:LineA~D(4調査測線、図-1.7参照)

発電所稼働状況:停止中

調査結果を表-3.25 に、過去同期の調査結果範囲を表-3.26 に、主な出現種の状況を表-3.27 に示す。

今期の出現種類数は 9 種類、出現した平均個体数は 15 個体/m²、 主な出現種はキンコ科等であり、過去同期と同様の傾向であった。

表-3.25 底生生物 (メガロベントス) 調査結果

調査年月日:令和7年5月14日~22日調査機関:東北電力(株)

出現種類数	9			
平均個体数 (個体/m²)	15			
主な出現種	棘皮動物	キンコ科 キタムラサキウニ	67. 6% 22. 5%	

注1) 主な出現種は、総個体数の5%以上出現かつ上位5種のものとした。

表-3.26 過去同期の底生生物 (メガロベントス) 調査結果範囲

調査時期	第1四半期
出現種類数	5~15
平均個体数 (個体/m²)	5~48

注1)過去同期の調査結果範囲は、平成16年度~令和6年度のものである。

# 表-3.27 底生生物 (メガロベントス) 調査における主な出現種の状況

調査時期	第1四半期								
年度	運転開始前		H17-R2		R3	R4	R5	R6	R7
十段	H16	Е				N4	2		
イトマキヒトデ	0	0	/	5	0	0	0	0	0
キタムラサキウニ	0	13	/	16	0	0	0	0	0
キンコ科	0	16	/	16	0	0	0	0	0
マボヤ	0	3	/	13	0	0	0	0	0
海鞘亜綱(単体ホヤ類)	0	1	/	10	0	0			

- 注 1) 年度欄の「運転開始前」は温排水放水前の調査であることを示す。
- 注 2) 表中の ②は主な出現種に計上されたことを示し、 〇は調査で出現した ことを示す。
- 注3) 平成17年度~令和2年度の16年間は、それぞれの出現状況を (主な出現種に計上された回数)/(調査で出現した回数)で示す。

# 資 料 編

- 1. 青森県実施分
  - (1)調査方法
  - (2)調査データ資料-1 水温・塩分
- 2. 東北電力(株)実施分
  - (1) 調査方法
  - (2) 分析方法
  - (3) 調査データ
    - 資料-1 取放水温度
    - 資料-2 水温·塩分
    - 資料-3 流況
    - 資料-4 水質
    - 資料-5 底質
    - 資料-6 卵・稚仔
    - 資料-7 プランクトン
    - 資料-8 海藻草類
    - 資料-9 底生生物 (メガロベントス)
  - (4) 運転状況・調査スケジュール

# 1. 青森県実施分

# (1) 調査方法

訓	郡 査 項 目	調査目的	調査方法	調査頻度
海洋環境	水温・塩分	温排水の影響による水温上昇域を確認する。	調査点に停船し、メモリー式の「水温・塩分計」を所定の深度まで沈め、水温と塩分を測定する。表層は採水し棒状温度計で測定する。また、採水した表層水は持ち帰り、塩分検定を行う。表層以深の水温・塩分の測定方法は、海洋観測指針(1999年)4.3.1による。塩分	年 4 回
			は実用塩分で表し、その単位は無名数とする。	

<sup>\*</sup>実用塩分:実用塩分は、1 気圧、15℃における塩化カリウム標準溶液(1kg 中、32.4356 g の塩化カリウムを含んだ水溶液)との電気伝導度比によって定義され、無次元の値であるため数値だけで表示する。

# (2)調査データ

資料-1 水温·塩分

調査年月日: 令和7年6月13日

調査時間 : 9:50~10:40

調査機関 : 青森県

調査点	S t . 2	S t . 5	St. 6	S t . 7	S t . 8
月日	6月13日	6月13日	6月13日	6月13日	6月13日
時刻	10:15	9:50	10:07	10:30	10:40
北緯	41° 11.0′	41° 12.0′	41° 11.0′	41° 10.0′	41° 09.0′
東経	141° 24.5′	141° 25.5′	141° 25.5′	141° 25.5′	141° 25.5′
天候	bc	bc	bc	bc	bc
気温 (°C)	15. 5	18. 5	16. 0	15. 8	15. 8
波浪	1	1	1	1	1
うねり	1	1	1	1	1
風向	SE	SE	SE	SE	SE
風力	1	1	1	1	1
水深(m)	25	46	54	59	62
透明度(m)	11	11	12	12	12
水温 (°C)					
表層	13. 0	13. 0	13. 0	13. 1	12. 9
10m	12. 2	12. 1	12. 1	12. 2	12. 4
20m	12.0	11. 9	12. 1	12. 2	12. 1
30m		11. 9	11. 9	12. 1	12. 1
50m			11.9	11. 9	11.9
塩分					
表層	33. 8	33. 8	33. 8	33.8	33.8
10m	33. 8	33. 8	33. 8	33. 8	33. 8
20 m	33. 9	33. 8	33. 8	33.8	33.8
30m		33. 9	33. 9	33. 9	33. 9
50m			33. 9	33. 9	33. 9

注1) 塩分は実用塩分で示しているため表示単位を示していない。

# 2. 東北電力(株)実施分

# (1) 調査方法

	調査項目	調査目的	調査方法	調査頻度
	取放水温度	取放水温度差が 7℃以下であること を確認する。	常設の電気式水温計により、連続 測定する。	連続
海	水温・塩分	温排水の影響による水温上昇域を確 認する。	調査点に停船し、メモリー式の 「水温・塩分計」を所定の深度ま で沈め、水温と塩分を測定する。 塩分は実用塩分で表し、その単位 は無名数とする。	年 4 回
洋環	流 況 (流向・流速)	取放水に伴い、周辺海域の海水流動 が変化していないことを確認する。	所定の位置に「流向・流速計」を 係留し、15 昼夜にわたって流向と 流速を連続測定する。	年4回
境	水質	取放水に伴い、水質が過年度と比較 して変化していないことを確認す る。	採水器を用いて所定の深度の採水 を行い、試料を持ち帰り、各項目 について分析する。また、透明度 は「セッキー板」を用いて、水温 は「水温・塩分計」を用いて測定 する。	年 4 回
	底質	取放水に伴い、底質が過年度と比較 して変化していないことを確認す る。	採泥器を用いて海底の採泥を行い、試料を持ち帰り、各項目について分析する。	年4回
<u></u>	卵・稚仔		稚魚ネットの水平曳きにより試料 を採集し、ホルマリン固定する。 試料は持ち帰り、出現種の査定を 行う。	年4回
海生物	プランクトン	温排水の影響により、発電所前面海域において出現種や出現量が過年度と比較して変化していないことを確認する。	動物プランクトンはプランクトンネットの鉛直曳きにより、植物プランクトンは採水器により試料を採集し、ホルマリン固定する。試料は持ち帰り、出現種の査定を行う。	年 4 回
	海藻草類、底生生物 (メガロベントス)		潜水士が海水中に潜って目視観察 および写真撮影を行い、出現種類 や分布状況について調査する。	年4回

\*実用塩分:実用塩分は、1 気圧、15℃における塩化カリウム標準溶液(1kg 中、32.4356gの塩化カリウムを含んだ水溶液)との電気伝導度比によって定義され、無次元の値であるため数値だけで表示する。

\*透明度:透明度は海洋表層の平均的な海水の濁りの指標であり、白昼に透明度板(セッキー板ともいう)という直径 30cm の白色の平らな円盤を水平に海水中に降ろし、上から見てこれがちょうど見えなくなる限界の深さをm単位で表す。透明度の目視確認が海底までできた場合(着底した場合)は、その水深の値は透明度に含めない。

# (2) 分析方法

# 水質分析方法

分析項目		分析方法(出典)	表示単位
水素イオン濃度(pH)		環告 59 号 別表 2.2 (JIS K 0102-1 12)	_
化学的酸素 要求量	酸性法	環告 59 号 別表 2.2 (JIS K 0102-1 17.2)	mg/L
安 水 里 (COD)	アルカリ性法	環告 59 号 別表 2.2 備考 1	mg/L
溶存酸素	量 (DO)	環告 59 号 別表 2.2 (JIS K 0102-1 21.2)	mg/L
塩分		海洋観測指針(1999)5.3	_
透 明	月度	海洋観測指針(1999)3.2	m
浮遊物質	量(SS)	環告 59 号 別表 2.1 付表 8	mg/L
水温		JIS K 0102-1 6.3 (サーミスタ温度計)	°C
全窒素(T-N)		環告 59 号 別表 2.2 (JIS K 0102-2 17.5)	mg/L
全リン(T-P)		環告 59 号 別表 2.2 (JIS K 0102-2 18.4.6)	mg/L

# 底質分析方法

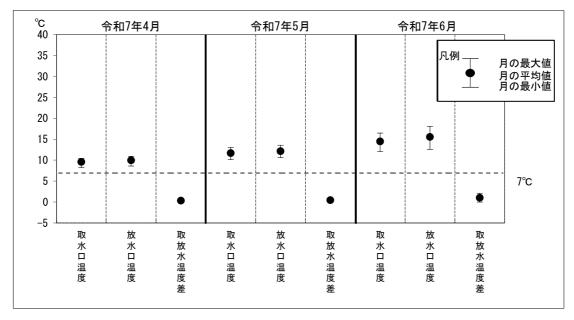
分析項目	分析方法(出典)	表示単位
化学的酸素要求量(COD)	底質調査方法 (平成 24 年環境省 II 4. 7)	mg/g 乾泥
強熱減量(IL)	底質調査方法 (平成 24 年環境省 II 4. 2)	%
全硫化物(T-S)	底質調査方法 (平成 24 年環境省 II 4. 6)	mg/g 乾泥
粒度組成	JIS A 1204	%

# (3) 調査データ

資料-1 取放水温度

(単位:℃)

年月	令和7	年1日	令和7	在5日	令和7	(単位:で) 在6日
日	取水口	放水口	取水口	放水口	取水口	放水口
<u> </u>	8. 4	8.8	10.6	10. 9	12. 1	12.6
2	8. 2	8.6	10.7	11. 1	12. 3	12.6
3	8. 2	8. 6	10.6	11. 1	12. 0	12.8
4	8. 6	9. 0	10. 1	10.6	12. 2	12. 7
5	8. 8	9. 1	10. 3	10.6	12. 7	13. 1
6	9. 1	9. 4	10. 3	10.8	12. 9	13. 3
7	9. 4	9. 7	10. 3	10. 7	13. 3	13.8
8	9. 6	10.0	10. 5	10. 9	13. 7	14. 4
9	9.8	10. 1	11. 1	11.5	13.8	15. 1
10	9. 7	10. 1	11.6	12. 0	14. 3	15. 3
11	9. 7	10.0	11. 7	12. 0	14. 5	15. 4
12	9. 9	10.3	11.5	11. 9	14. 8	15. 4
13	10. 3	10.6	11. 7	12. 1	14. 7	15. 7
14	9. 5	9. 9	11.8	12. 4	14. 1	15. 5
15	9. 2	9. 6	11. 7	12. 2	14. 1	15. 4
16	9. 3	9. 6	12. 0	12. 6	14. 3	15. 2
17	9. 3	9. 7	12. 3	12. 9	15. 0	15. 7
18	9. 7	10. 1	12. 3	12. 7	14. 5	16. 1
19	10. 0	10.3	12. 1	12. 6	14. 4	16. 1
20	10. 2	10. 5	12. 3	12. 8	14. 7	16. 1
21	10. 4	10.8	12. 2	12. 7	15. 2	16. 3
22	10. 4	10. 9	12. 0	12. 4	15. 9	16.8
23	10.0	10.6	12. 2	12. 7	15. 9	17. 2
24	9. 9	10.3	12. 6	13. 0	16. 3	17. 5
25	9. 7	10. 1	12. 5	12. 9	16. 4	17.8
26	9. 8	10. 1	12. 3	12. 7	16. 5	17. 7
27	10. 1	10. 4	12. 4	12. 9	16. 4	17. 6
28	10. 4	10. 7	12.8	13. 3	16. 0	17. 9
29	10.0	10. 3	13. 1	13. 6	16. 2	18. 1
30	10. 2	10.5	12. 6	13. 4	15. 7	17. 8
31	_	-	12. 2	13. 0	_	-
平均値	9. 6	10.0	11. 7	12. 2	14. 5	15. 6
最大値	10. 4	10. 9	13. 1	13. 6	16. 5	18. 1
最小値	8. 2	8. 6	10. 1	10. 6	12. 0	12. 6



# 資料-2 水温·塩分

調査年月日: 令和7年5月27日調査機関: 東北電力株式会社

													ā	周査機同	到 :	東北電	<b>直力株</b> ェ	(会社	
調査点項目	St. 17	St. 18	St. 19	St. 20	St. 21	St. 22	St. 23	St. 24	St. 25	St. 26	St. 27	St. 28	St. 29	St. 30	St. 31	St. 32	St. 33	St. 34	St. 35
時刻	9:41	9:51	9:33	9:43	9:28	9:20	9:00	9:19	9:28	9:45	10:05	9:06	9:34	9:17	9:07	9:27	9:13	9:36	9:14
天候	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
気温(℃)			16.0																
風向			S																
風速 (m/s)			3. 4																
水深(m)	7. 5	7. 5	8. 5	10. 5	13. 5	17.0	19.5	21.0	21.0	25. 0	30.0	31.0	40. 5	39. 5	44. 5	40.5	38. 5	45. 5	48. 0
水温(℃)																			
観測層(m)0.5	12. 0	12.0	12. 0	12. 1	12. 1	11.6	11.8	12. 1	12. 2	11. 8	12. 2	11.8	11.8	12. 0	11. 7	12. 1	12. 3	12. 1	12. 1
1	12. 0	12. 0	11. 9	11. 7	12. 0	11.6	11.7	12. 0	12. 1	11. 8	11.9	11.7	11.8	11. 9	11. 7	12.0	12. 2	12. 0	12. 0
2	11.7	11.9	11.6	11. 6	11. 9	11.6	11.6	11. 7	11. 7	11. 6	11.7	11.7	11.8	11. 9	11. 7	11.9	11.9	11. 9	11. 9
3	11.5	11.7	11.5	11.5	11. 7	11.5	11.6	11.6		11. 6						11.8		11.8	11.8
4	11.4	11.5	11.5		11. 7	11.5		11.5			11.6			11.8				11. 7	11.8
5		11.4	11.4		11. 6			11. 5						11. 8				11. 7	11. 7
6	11.4	11.4	11.4	11. 5	11. 5			11. 5						11. 8		11.8	11.8	11. 7	11. 7
7	11.4	11.4	11.4	11. 4	11. 5	11.5		11. 5						11.8			11.7	11. 7	11. 7
8	//	/_	11.4	11. 4	11. 5									11. 7				11. 7	
9	$\angle$	_	$\angle$	11. 4		11.4								11. 7			11.7	11. 7	
10	//	_		11.4	11.5	11.4	11.5	11.5	11. 5					11. 7	11.8		11. 7	11. 7	11. 7
15	//	$\angle$		//	$/\!\!-\!\!\!\!-$	11.3	11.4	11. 5	11. 5					11. 7	11. 7			11.6	11. 7
20		<u>/</u>						11. 3	11. 3					11. 7				11.6	11.6
海底上2m	11.4	11.4	11.4	11. 4	11. 4	11.3	11.3	11. 3	11. 4	11. 3	11.3	11.3	11.4	11. 3	11. 3	11.5	11.4	11. 4	11. 4
塩分						20.0													00.7
観測層(m)0.5	33. 7	33. 7	33. 7	33. 5	33. 7	33.8	33. 7	33. 5	33. 4	33. 7	33.6			33. 7	33. 7	33.7	33. 7	33. 7	33. 7
l l	33. 7	33. 7	33. 7	33. 7	33. 7	33.8	33. 7	33. 6	33. 5		33. 6			33. 7	33. 7	33.7	33. 7	33. 7	33. 7
2	33. 7	33. 7	33.8	33.8	33. 7	33.8	33.8	33. 7	33. 7	33. 8	33.7	33.7	33.8	33. 7	33. 7	33.7	33. 7	33. 7	33. 7
3	33.8	33. 7	33. 8	33. 8	33. 8	33.8	33.8	33. 7	33. 8		33.8	33. 7	33. 7	33. 7	33. 7	33.7	33. 7	33. 7	33.8
4	33.8	33.8	33. 8	33. 8	33. 8	33.8	33.8	33.8	33.8		33.8	33. 7	33. 7	33. 7	33. 7	33.7	33. 7	33. 7	33. 7
5	33.8	33.8	33.8	33. 8	33. 8	33.8	33.8	33.8	33.8	33. 8	33.8	33.8	33. 7	33. 7	33. 7	33.7	33. 7	33. 7	33.8
0	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33. 7	33. 7	33.7	33.7	33.7	33.8	33.8
8		აა. გ	33. 8		33. 8							33.8							33. 7 33. 8
9		$\vdash$	JJ. 6		33. 8							33.8							33. 8
10				33. 8		33.8			33. 8			33.8							
15	-			33. 0	33. 0	33.8			33. 8			33.8							
20						33. 0	33. 6		33. 8			33.8							
	33.8	33 8	33 8	33 8	33 8	33 8	33 8												33. 8
/再/B.工ZIII	JJ. 0	JJ. 0	აა. 0	აა. 0	JJ. 0	აა. 0	აა. 0	JJ. 0	აა. 0	JJ. 0	აა. 0	JJ. 0	JJ. 0	აა. 0	JJ. 0				

調査年月日: 令和7年5月14日~5月28日

調査位置: St. 21 調査機関: 東北電力株式会社

(cm/s)	区分	N	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	合計
静穏	頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
用扩化芯	(%)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.05	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 05
<b>~</b> 5.0	頻度	24	25	31	30	19	24	38	41	19	25	20	18	16	9	21	31	391
0.0	(%)	1. 11	1. 16	1. 44	1. 39	0. 88	1.11	1. 76	1. 90	0.88	1. 16	0. 93	0.83	0. 74	0. 42	0. 97	1. 44	18. 10
5.0 ~ 10.0	頻度	83	75	40	33	17	15	37	54	50	88	25	2	6	12	7	44	588
0.0 10.0	(%)	3. 84	3. 47	1. 85	1. 53	0. 79	0. 69	1. 71	2. 50	2. 31	4. 07	1. 16	0.09	0. 28	0. 56	0. 32	2. 04	27. 22
10.0 ~ 15.0	頻度	104	58	5	17	11	3	9	26	57	93	16	1	7	1	6	7	421
10.0 10.0	(%)	4. 81	2. 69	0. 23	0. 79	0. 51	0. 14	0. 42	1. 20	2. 64	4. 31	0. 74	0. 05	0. 32	0. 05	0. 28	0. 32	19. 49
15.0 ~ 20.0	頻度	131	29	0	2	2	1	2	7	42	76	4	0	0	0	0	7	303
10.0 20.0	(%)	6.06	1. 34	0. 00	0.09	0. 09	0. 05	0.09	0. 32	1. 94	3. 52	0. 19	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 32	14. 03
20.0 ~ 25.0	頻度	89	18	0	0	0	0	0	0	45	84	0	0	0	0	0	3	239
20.0	(%)	4. 12	0. 83	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	2. 08	3. 89	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 14	11. 06
25.0 ~ 30.0	頻度	75	2	0	0	0	0	0	0	9	73	0	0	0	0	0	4	163
20.0 00.0	(%)	3. 47	0. 09	0. 00	0.00	0. 00	0. 00	0.00	0. 00	0. 42	3. 38	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 19	7. 55
30.0 ~ 35.0	頻度	19	0	0	0	0	0	0	0	1	24	0	0	0	0	0	7	51
00.0	(%)	0.88	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 05	1. 11	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 32	2. 36
35.0 <b>~</b> 40.0	頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
10.0	(%)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 14	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 14
40.0 ~	頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(%)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0.00	0. 00	0. 00
合計	頻度	525	207	76	82	49	43	86	128	223	466	65	22	29	22	34	103	2160
	(%)	24. 31	9. 58	3. 52	3.80	2. 27	1. 99	3.98	5. 93	10. 32	21. 57	3. 01	1.02	1. 34	1.02	1.57	4. 77	100.00

調査位置: St. 29

(cm/s)	区分	N	NNE	NE	ENE	Е	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	合計
静穏	頻度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用力化志	(%)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0.00	0. 00	0. 00
<b>~</b> 5.0	頻度	8	8	13	7	5	9	18	16	4	13	14	6	9	4	8	3	145
3.0	(%)	0. 37	0. 37	0. 60	0. 32	0. 23	0. 42	0.83	0. 74	0. 19	0. 60	0. 65	0. 28	0. 42	0. 19	0. 37	0. 14	6. 71
5.0 ~ 10.0	頻度	17	22	24	16	21	17	23	25	35	33	29	12	1	6	5	13	299
0.0 10.0	(%)	0. 79	1. 02	1. 11	0. 74	0. 97	0. 79	1.06	1. 16	1. 62	1. 53	1.34	0.56	0. 05	0. 28	0. 23	0. 60	13. 84
10.0 ~ 15.0	頻度	19	17	48	53	27	29	34	32	46	35	29	4	2	7	12	11	405
10.0	(%)	0.88	0. 79	2. 22	2. 45	1. 25	1. 34	1. 57	1. 48	2. 13	1. 62	1.34	0.19	0.09	0. 32	0.56	0. 51	18. 75
15.0 ~ 20.0	頻度	14	19	51	20	19	19	14	49	80	53	35	4	3	3	9	3	395
10.0 20.0	(%)	0.65	0. 88	2. 36	0. 93	0. 88	0. 88	0. 65	2. 27	3. 70	2. 45	1.62	0.19	0. 14	0.14	0.42	0. 14	18. 29
20.0 ~ 25.0	頻度	19	27	34	8	5	7	14	29	76	92	25	2	5	3	0	0	346
20.0 20.0	(%)	0.88	1. 25	1. 57	0. 37	0. 23	0. 32	0. 65	1. 34	3. 52	4. 26	1. 16	0.09	0. 23	0. 14	0.00	0.00	16. 02
25.0 ~ 30.0	頻度	6	26	7	13	0	1	1	27	66	37	11	0	0	0	0	0	195
20.0 00.0	(%)	0. 28	1. 20	0. 32	0.60	0.00	0. 05	0.05	1. 25	3. 06	1. 71	0. 51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9. 03
30.0 <b>~</b> 35.0	頻度	8	24	0	0	0	0	0	0	34	43	4	0	0	0	0	0	113
00.0	(%)	0. 37	1. 11	0.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	1. 57	1. 99	0. 19	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	5. 23
35.0 <b>~</b> 40.0	頻度	6	14	1	0	0	0	0	0	25	60	5	0	0	0	0	0	111
10.0	(%)	0. 28	0. 65	0. 05	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	1. 16	2. 78	0. 23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5. 14
40.0 ~	頻度	14	19	0	0	0	0	0	0	8	101	9	0	0	0	0	0	151
10.0	(%)	0.65	0. 88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 37	4. 68	0. 42	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00	6. 99
合計	頻度	111	176	178	117	77	82	104	178	374	467	161	28	20	23	34	30	2160
	(%)	5. 14	8. 15	8. 24	5. 42	3. 56	3.80	4. 81	8. 24	17. 31	21. 62	7. 45	1. 30	0. 93	1.06	1. 57	1. 39	100.00

注1)頻度の(%)は、小数第3位を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある。

#### 資料-4 水質

調査年月日: 令和7年5月27日

調査方法 : バンドーン型採水器による採水 調査機関 : 東北電力株式会社

現ま項目   現水層   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1			調査点	ı				ı	祠生	E機関 :	東北電力	休式云社		
水素イナ 連接	調	查項目		St. 18	St. 23	St. 27	St. 30	St. 32	St. 33	St. 34	St. 35	最大値	最小値	平均値
日本				8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0			
日本			5. 0m	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0			
検性性	[	(pH) [—]	20.0m	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	-		
機性法			平均	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0	8. 0
大学的			0.5m	1. 2	1. 2	2. 4	1. 2	1. 6	1. 3	1. 4	1. 2			
化学的		邢允小什;土	5. 0m	1. 1	1. 2	1.1	1. 5	1.4	1.4	1. 4	1. 2			
(COD)	化学的	段江広	20.0m	1. 2	1. 2	1. 2	1. 5	1.0	1. 5	1. 5	1.1			
			平均	1. 2	1. 2	1. 6	1.4	1. 3	1.4	1. 4	1. 2	2. 4	1.0	1. 3
Pルカリ性法   20.0m   0.4   0.4   0.5   0.5   0.4   0.4   0.5   0.4   0.4   0.5   0.4   0.4   0.5   0.4   0.4   0.5   0.4   0.4   0.4   0.5   0.4   0.5   0.4   0.4   0.5   0.4   0.5   0.5   0.4   0.4   0.4   0.4   0.5   0.5   0.4   0.4   0.5   0.5   0.4   0.4   0.5   0.5   0.5   0.4   0.4   0.5   0.5   0.5   0.4   0.5	(COD)		0.5m	0. 4	0.4	1. 1	0. 4	0. 5	0. 4	0. 4	0. 4			
日本語	[mg/L]	アルカリ性法	5. 0m	0. 4	0.4	0. 5	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4			
RF   Parish   Par		7 7073 7 1174	20.0m	0. 4	0. 4	0. 5	0. 5	0. 4	0. 4	0. 5	0. 4			
溶存酸素量 (DO)			平均	0. 4	0.4	0. 7	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4	0. 4	1.1	0. 4	0. 5
(DO)				9. 0	8. 9	8. 7	8. 9	9.8	9. 9	10.0	9. 8			
March   10   10   10   10   10   10   10   1			5. 0m	8. 9	9. 0	8. 9	9. 3	9. 9	9. 6	10. 0	9. 9			
塩分			20.0m	8. 7	8. 9	8. 9	9. 1	9. 2	9. 5	10. 2	9. 7			
塩分   1	_		平均	8. 9	8. 9	8. 8	9. 1	9. 6	9. 7	10. 1	9. 8	10. 2	8. 7	9. 4
English			0.5m	33. 9	33.8	33. 7	33. 8	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9			
透明度 [m]	ţ	<b></b> <b></b>	5. 0m	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9			
透明度 [m]	[	[-]	20.0m	33. 9	34. 0	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9			
Figure			平均	33. 9	33. 9	33. 8	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	33. 9	34. 0	33. 7	33. 9
Figure	添	·阳唐												
P遊物質量 (SS) [mg/L]				>7. 5	11. 5	13.0	13. 0	13. 5	15. 0	14. 4	12. 5			
野遊物質量 (SS) [mg/L]   1	L	.m]										15. 0	11. 5	13. 3
SS   Find   St.			0.5m	<1	<1	1	<1	<1	1	<1	<1			
Region   1   1   1   1   1   1   1   1   1			5. 0m	<1	<1	1	1	<1	1	1	1			
平均	( [n	(SS) ng/L]	20. 0m	1	<1	<1	<1	1	<1	1	1	-		
大温   5.0m   11.4   11.6   11.8   11.8   11.8   11.7   11.7   11.7   20.0m   11.4   11.3   11.5   11.7   11.6   11.7   11.6   11.6   11.6   11.8			平均	1	<1	1	1	1	1	1	1	1	<1	1
[°C] 20.0m 11.4 11.3 11.5 11.7 11.6 11.7 11.6 11.6 11.6 平均 11.6 11.6 11.8 11.8 11.8 11.9 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 11.8 11.9 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8 11.8 11.8 11.8 11.8 11.8 11			0.5m	12. 0	11.8	12. 2	12. 0	12. 1	12. 3	12. 1	12. 1			
平均 11.6 11.6 11.8 11.8 11.8 11.9 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8  全窒素 (T-N) [mg/L]	7	水温	5. 0m	11.4	11.6	11. 6	11. 8	11.8	11.8	11. 7	11. 7			
平均 11.6 11.6 11.8 11.8 11.8 11.9 11.8 11.8 11.8 12.3 11.3 11.8      全窒素 (T-N) [mg/L] 20.0m 0.12 0.13 0.11 0.13 0.11 0.10 0.10 0.10 0.10	[	[°C]	20. 0m	11.4	11. 3	11. 5	11. 7	11. 6	11. 7	11. 6	11. 6			
全窒素 (T-N) [mg/L] 5.0m 0.13 0.11 0.13 0.11 0.10 0.10 0.10 0.10			平均	11.6	11.6	11. 8	11.8	11.8	11. 9	11. 8	11. 8	12. 3	11. 3	11. 8
(T-N) [mg/L] 20.0m 0.12 0.13 0.12 0.12 0.10 0.10 0.12 0.10 0.10			0.5m	0. 16	0. 12	0. 12	0.14	0. 15	0. 11	0. 10	0. 09			
[mg/L] 20.0m 0.12 0.13 0.12 0.12 0.10 0.10 0.12 0.10 0.10			5. 0m	0. 13	0. 11	0. 13	0. 11	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10			
平均 0.14 0.12 0.12 0.12 0.12 0.10 0.11 0.10 0.16 0.09 0.12 0.5m 0.016 0.016 0.015 0.015 0.013 0.013 0.013 0.012			20. 0m	0. 12	0. 13	0. 12	0. 12	0. 10	0. 10	0. 12	0. 10			
全リン (T-P) [mg/L] 5.0m 0.017 0.015 0.015 0.014 0.013 0.012 0.013 0.013 0.013 20.0m 0.016 0.016 0.015 0.013 0.013 0.014 0.014 0.014 0.014			平均	0. 14	0. 12	0. 12	0. 12	0. 12	0. 10	0. 11	0. 10	0. 16	0.09	0. 12
(T-P) [mg/L] 20. 0m 0. 016 0. 016 0. 015 0. 013 0. 014 0. 014 0. 014			0.5m	0. 016	0. 016	0. 015	0. 015	0. 013	0. 013	0. 013	0. 012			
[mg/L] 20.0m 0.016 0.016 0.015 0.013 0.013 0.014 0.014 0.014			5. 0m	0. 017	0. 015	0. 015	0. 014	0. 013	0. 012	0. 013	0. 013	1		
			20. 0m	0. 016	0. 016	0. 015	0. 013	0. 013	0. 014	0. 014	0. 014			
平均   0.016  0.016  0.015  0.014  0.013  0.013  0.013  0.013  0.017   0.012   0.014		J1	平均	0. 016	0. 016	0. 015							0. 012	0. 014

注1) 結果欄中の「〈」は定量下限未満の値を示す。また、透明度の「〉」は着底を示す。

注2) 透明度以外の「平均値」の算出にあたって、定量下限未満の値は定量下限値として計算し、 全ての値が定量下限値未満の場合は、平均値に不等号を付けて表示した。

注3) 透明度の最小値、平均値の算出には着底した値を含めていない。

注4) St. 18(水深 7.5m)、St. 23(水深 19.5m)は水深21.0m未満のため、海底上1.0m層で採水した。

# 資料-5 底質

調査年月日: 令和7年5月23日

調査方法 : スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥

調査機関 : 東北電力株式会社

調査項	調査点	St. a	St. b	St. c	最大値	最小値	平均值
•	化学的酸素要求量(COD) [mg/g乾泥]	0.6	0. 5	0. 3	0. 6	0. 3	0. 5
	強熱減量(IL) [%]	2. 3	2. 5	1. 3	2. 5	1.3	2. 0
	全硫化物(T-S) [mg/g乾泥]	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	礫 (2.000mm以上)	18. 1	1. 9	0.0	18. 1	0.0	6. 7
粒度組成	粗砂(0.425~2.000mm未満)	73.8	10. 9	0. 1	73.8	0. 1	28. 3
[%]	細砂(0.075~0.425mm未満)	4. 9	83. 3	97. 2	97. 2	4. 9	61.8
	シルト(0.005~0.075㎜未満)	0.8	1. 3	0. 1	1. 3	0. 1	0. 7
	粘土・コロイド (0.005㎜未満)	2. 4	2. 6	2. 6	2. 6	2. 4	2. 5

- 注1) 結果欄中の「<」は定量下限未満の値を示す。
- 注2) 平均値の算出にあたって、定量下限未満の値は定量下限値として計算し、全ての値が定量下限値未満の場合は、平均値に不等号を付けて表示した。
- 注3) 強熱減量と粒度組成は、重量百分率で示した。

# 資料-6.1 卵

調査年月日: 令和7年5月27日

調査方法 : 丸稚ネットによる水平曳き (600m)

調査機関 : 東北電力株式会社

個数密度(個/1,000m³)

<u> </u>	X田及(旧/ 1,000m	,														ᄪ	·		3 M 20 22	-			
		調査点	St.	23	St.	30	St.	32	St.	33	St.	34	St.	35		計				平均	]個数		
	種名	採集層	0. 5m	5. Om	0. 5m	5. Om	0.5m	5. Om	0. 5m	5. Om	0.5m	5. Om	0.5m	5. Om	0. 5m	5. Om	全層	0.	5m	5.	Om	全	:層
1	カタクチイワシ		5	2			2		2	2					9	4	13	2	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)
2	キュウリエソ		3	2	3	1	8	3	2		3	6	2	2	21	14	35	4	(0.7)	2	(1.0)	3	(0.8)
3	メイタガレイ属				3	4	10	3	5	10	4	5	2	5	24	27	51	4	(0.8)	5	(2.0)	4	(1. 1)
4	単脂球形不明卵	1	158	56	271	142	324	274	364	169	463	137	368	106	1, 948	884	2, 832	325	(61.3)	147	(65. 7)	236	(62. 6)
5	単脂球形不明卵	2	16	7	15	7	2	9	3	5	12	3		7	48	38	86	8	(1.5)	6	(2.8)	7	(1.9)
6	無脂球形不明卵	1	468	157	448	44	64	40	52	55	51	27	32	22	1, 115	345	1, 460	186	(35. 1)	58	(25. 7)	122	(32. 3)
7	無脂球形不明卵	2	5	3		4	2		2	5		3	2	9	11	24	35	2	(0.3)	4	(1.8)	3	(0.8)
8	無脂球形不明卵	3								2	3	2		5	3	9	12	1	(0.1)	2	(0.7)	1	(0.3)
	合 計		655	227	740	202	412	329	430	248	536	183	406	156	3, 179	1, 345	4, 524	530	(100.0)	224	(100.0)	377	(100.0)
	出現種類数	·	6	6	5	6	7	5	7	7	6	7	5	7	8	8	8						

注1) 平均個数欄の ( ) 内数値は総数に対する組成率 (%) を示す。

注2) 平均個数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

# 資料-6.2 稚仔

調査年月日: 令和7年5月27日

調査方法 : 丸稚ネットによる水平曳き (600m)

個体数密度(個体/1,000m³) 調査機関: 東北電力株式会社

	調査点	į St	. 23	St.	. 30	St.	32	St.	33	St.	34	St.	35		計				平均	個体数		
	種名    採集層	0. 5m	5. Om	0.5m	5. Om	全層	0.	. 5m	5.	Om	全	≧層										
1	マイワシ					2	27	13	2	13	2	8		36	31	67	6	(4. 5)	5	(3.4)	6	(3. 9)
2	カタクチイワシ		2		1	3			3					3	6	9	1	(0.4)	1	(0.7)	1	(0.5)
3	ムネエソ科	15	5											15	5	20	3	(1.9)	1	(0.6)	2	(1. 2)
4	スケトウダラ										2		9		11	11			2	(1. 2)	1	(0.6)
5	ハゼ科		2			34	10	2	2	1	3		5	37	22	59	6	(4. 6)	4	(2. 4)	5	(3. 5)
6	タウエガジ科					2	1							2	1	3	0	(0. 2)	0	(0.1)	0	(0. 2)
7	ウスメバル	10				7	19	21	5	13	10		24	51	58	109	9	(6.3)	10	(6.4)	9	(6. 4)
8	キツネメバル	2		1	13	93	60	14	36	4	13		18	114	140	254	19	(14. 2)	23	(15. 6)	21	(14. 9)
9	ムラソイ			1	1	5	15	5		3	2		16	14	34	48	2	(1.7)	6	(3.8)	4	(2. 8)
10	メバル属	10	2	4	16	42	236	208	28	251	147	12	155	527	584	1, 111	88	(65. 5)	97	(64. 9)	93	(65. 2)
11	カサゴ										2				2	2			0	(0. 2)	0	(0.1)
12	アイナメ属								2						2	2			0	(0. 2)	0	(0. 1)
13	ホウボウ科							2		3	2			5	2	7	1	(0.6)	0	(0. 2)	1	(0.4)
14	マコガレイ		2												2	2			0	(0. 2)	0	(0. 1)
	合 計	37	13	6	31	188	368	265	78	288	183	20	227	804	900	1, 704	134	(100.0)	150	(100.0)	142	(100.0)
	出現種類数	4	5	3	4	8	7	7	7	7	9	2	6	10	14	14						_

注1) 平均個体数欄の( ) 内数値は総数に対する組成率(%)を、個体数の0は0.5個体/1,000m³未満であることを示す。

注2) 平均個体数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

#### 資料-7.1 動物プランクトン

個体数密度 (個体/m³)

調査年月日: 令和7年5月27日

調査方法 : 北原式閉鎖定量ネットによる鉛直曳き

調査機関 : 東北電力株式会社

. 密度(個1本/m	,	調査点	St. 23	- 1	C+	. 30	C+	32	St. 3	2	St.	34	St.	35		計	砂里	(関 : リ	<b>以北電刀材</b>	平均個位	士 米4		
門	種名	調宜 点 採集層		~20m	0~5m	5~20m	0~5m	5~20m		ა 5∼20m	0∼5m	5~20m	0~5m	5~20m	0~5m	āT 5∼20m	全層	0~5	im	平均1回1 5~2(			全層
原生動物	GLOBIGERINIDAE	1 末未后	0.43111 3.	- 20111	0 3111	5 2011	0.4.0111	2 2011	0.40111	0 · - ZOIII	0 3111	5 2011	0 3111	5 2011	0 3111	17	主店 17	0.0	***	3	(0.1)	1	. 1
凉工到初	Parafavella denticulata					40	280	20	80	120	420	60	50	100	830	340	1,170	138	(2.5)	57	(1.2)	98	
						40	200	20	00	120	420	00	10	100	10	340	1,170	2	(0.0)	31	(1.2)	90	1 (
마하 마를 푹느 쓰는	Eutintinnus lusus-undae												10		10	-	10	2	(0.0)		(0.0)		,
腔腸動物	Obelia sp.											5				5	5			1	(0.0)	0	, (
環形動物	larva of POLYCHAETA			4		_		2			15	5	20		35	11	46	6	(0.1)	2	(0.0)	4	4 ((
軟体動物	veliger of GASTROPODA			7		5						5		10		27	27			5	(0.1)	2	- (-
	umbo larva of BIVALVIA		15	148	10		20			7	15			15	60	175	235	10	(0.2)	29	(0.6)	20	
節足動物	Evadne nordmanni				10							5			10	5	15	2	(0.0)	1	(0.0)	1	1 (
	copepodite of CALANIDAE				90		20	2	10		30	5		10	150	32	182	25	(0.5)	5	(0.1)	15	
	copepodite of <i>Eucalanus</i>					5										5	5			1	(0.0)	0	,
	Paracalanus parvus		5	89	400	80	80	27	140	40	180	140	40	15	845	391	1,236	141	(2.6)	65	(1.4)	103	3 (
	copepodite of <i>Paracalanus</i>		20	948	720	460	880	93	420	387	900	380	260	480	3,200	2,748	5,948	533	(9.8)	458	(9.5)	496	5 (
	Clausocalanus pergens			104	10	10	10					5	20		40	119	159	7	(0.1)	20	(0.4)	13	3 (
	copepodite of Clausocalanus			370		240	320		60	147	15	300		420	395	1,477	1,872	66	(1.2)	246	(5.1)	156	5
	Pseudocalanus newmani			4	160	160		3	20		120	10	80	80	380	257	637	63	(1.2)	43	(0.9)	53	3
	copepodite of <i>Pseudocalanus</i>		5	267	740	880	480	47	600	227	120	960	300	1,800	2,245	4,181	6,426	374	(6.9)	697	(14.5)	536	5 (
	copepodite of <i>Calocalanus</i>			4												4	4			1	(0.0)	0	)
	Centropages abdominalis			4								10		5		19	19			3	(0.1)	2	2
	copepodite of Centropages			4								10				14	14			2	(0.0)	1	1
	copepodite of <i>Metridia</i>				10	10								5	10	15	25	2	(0.0)	3	(0.1)	2	2
	Acartia omorii			4		5		2		3	15				15	14	29	3	(0.0)	2	(0.0)	2	
	copepodite of Acartia			-			10				10		10		20		20	3	(0.1)	-	(0.0)	2	
	Oithona atlantica			11			10					5	10		20	16	16	3	(0.1)	3	(0.1)		1
	Oithona similis			281	20	240	80	7	80	107	540	140	220	160	940	935	1.875	157	(2.9)	156	(3.2)	156	
	copepodite of Oithona		85	1,156	320		720	60	480	387	1,200	1,160	540	1,600	3,345	5,003	8,348	558	(10.3)	834	(17.4)	696	
	Oncaea media		85	7,130	320	040	720	00	400	367	1,200	1,100	10	1,000	3,343	7	17	2	(0.0)	0.54	(0,0)	1	1
									10			_	10		10		26	2	(,	3	()	2	
	copepodite of Oncaea			11					10			3			10	16	20	2	(0.0)	3	(0.1)	0	
	Corycaeus affinis											5				5	5			1	(0.0)		4
	copepodite of Corycaeus			44				_				3				49	49			8	(0.2)	4	
	Microsetella norvegica		45	119	10		60	7	30	13	15	160	240	140	400	449	849	67	(1.2)	75	(1.6)	71	
	nauplius of COPEPODA		280	2,193	820	1,120	4,080	407	2,640	1,653	8,640	2,520	1,800	3,840	18,260	11,733	29,993	3,043	(56.0)	1,956	(40.7)	2,499	,
	cypris of BALANOMORPHA							2								2	2			0	(0.0)	0	,
	HYPERIIDAE							5		3		5				13	13			2	(0.0)	1	1
	egg of EUPHAUSIACEA				40	10	10		20		15	15	10	10	95	35	130	16	(0.3)	6	(0.1)	11	1
	nauplius of EUPHAUSIACEA					5								5		10	10			2	(0.0)	1	1
	calyptopis of EUPHAUSIACEA				10	5	10					5			20	10	30	3	(0.1)	2	(0.0)	3	3
	furcilia of EUPHAUSIACEA				30	10	10							5	40	15	55	7	(0.1)	3	(0.1)	5	j
毛顎動物	juvenile of <i>Sagitta</i>								10						10		10	2	(0.0)			1	į.
原索動物	Fritillaria sp.					5	10		10			10		-	20	15	35	3	(0.1)	3	(0.1)	3	3
	Oikopleura dioica			4	80	5	10			3	240	15	40	10	370	37	407	62	(1.1)	6	(0.1)	34	4
	Oikopleura laboradoriensis												10		10		10	2	(0.0)			1	i
	Oikopleura longicauda				10	5	80			3		15		10	90	33	123	15	(0.3)	6	(0.1)	10	)
	Oikopleura sp.		5	59	60	40	280	20	80	93	240	100	80	280	745	592	1,337	124	(2.3)	99	(2.1)	111	1
	合 計		460	5,842	3,550	_	7,450	706	4,690	3,193	12,720	6,070	3,740	9,005	32,610	28,831	61,441	5,435	(100.0)	4,805	(100.0)	5,120	_
	出現種類数		700	23	19		20	16	16	15	12,720	30	18	22	32,010	39	43	5,755	(100.0)	.,505	(100.0)	5,120	(1)

注1) 平均個体数欄の ( ) 内数値は総数に対する組成率 (%) を、個体数の0は0.5個体/m³未満であることを示す。

注2) 平均個体数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

#### 資料-7.2 植物プランクトン(1/2)

調査年月日: 令和7年5月27日

調査方法 : バンドーン型採水器による採水

细胞粉密度 (細胞/1)

細胞	数密度(細胞/L	)																調査	機関:	東北電力村	朱式会社		
		調査点	i St.	. 23	St.	30	St.	32	St.	33	St	. 34	St.	35		計				平均組	胞数		
	門	種名 採集層	0.5m	5. Om	0. 5m	5. Om	0. 5m	5. Om	0.5m	5. Om	0.5m	5. Om	0. 5m	5. Om	0. 5m	5. Om	全層	0. 9	5m	5. (	Om	全	:層
1	クリプト植物	CRYPTOPHYCEAE	6,000	29,760	8,400	37,920	30,720	43,680	5,040	24,240	16,800	41,760	12,960	47,280	79,920	224,640	304,560	13,320	(4.3)	37,440	(10.3)	25,380	(7.5)
2	渦鞭毛植物	Prorocentrum balticum	240	1,680	1,920	1,200	2,640	1,680	2,640	1,680	1,680	1,680	2,640	2,880	11,760	10,800	22,560	1,960	(0.6)	1,800	(0.5)	1,880	(0.6)
3		Prorocentrum triestinum				240							240		240	240	480	40	(0.0)	40	(0.0)	40	(0.0)
4		Dinophysis fortii	60		60	60				60		180	120	60	240	360	600	40	(0.0)	60	(0.0)	50	(0.0)
5		Gyrodinium sp.			480	480	240	720	480	960	240	720	480	960	1,920	3,840	5,760	320	(0.1)	640	(0.2)	480	(0.1)
6		GYMNODINIALES	1,920	14,400	2,880	4,800	7,200	21,840	1,680	8,160	3,360	12,960	5,040	17,280	22,080	79,440	101,520	3,680	(1.2)	13,240	(3.6)	8,460	(2.5)
7		Gonyaulax sp.			240		240					240	240		720	240	960	120	(0.0)	40	(0.0)	80	(0.0)
8		Protoperidinium sp.		240		720		1,680	720	480	240	1,680	960	1,680	1,920	6,480	8,400	320	(0.1)	1,080	(0.3)	700	(0.2)
9		Ceratium kofoidii	120	60	60	540	960	1,440	360	900	240	480	480	240	2,220	3,660	5,880	370	(0.1)	610	(0.2)	490	(0.1)
10		Oxytoxum sp.			240			240		240					240	480	720	40	(0.0)	80	(0.0)	60	(0.0)
11		PERIDINIALES	2,400	6,720	1,200	3,360	7,440	7,200	480	8,400	2,880	12,480	4,080	17,040	18,480	55,200	73,680	3,080	(1.0)	9,200	(2.5)	6,140	(1.8)
12	ハプト植物	HAPTOPHYCEAE	480		240	960	960	480	720		240	1,440	720	960	3,360	3,840	7,200	560	(0.2)	640	(0.2)	600	(0.2)
13	黄色植物	Dictyocha fibula	480	240		240	240			240		240		240	720	1,200	1,920	120	(0.0)	200	(0.1)	160	(0.0)
14		Skeletonema costatum				960	480							720	480	1,680	2,160	80	(0.0)	280	(0.1)	180	(0.1)
15		Leptocylindrus danicus	161,760	167,040	156,960	159,360	192,960	181,920	165,120	203,040	180,960	202,560	194,880	182,400	1,052,640	1,096,320	2,148,960	175,440	(56.4)	182,720	(50.2)	179,080	(53.1)
16		Leptocylindrus minimus	6,000	8,880	10,800	11,040	11,520	20,400	14,880	15,840	14,400	15,120	23,520	9,360	81,120	80,640	161,760	13,520	(4.3)	13,440	(3.7)	13,480	(4.0)
17		Corethron hystrix					60	60	60	60		120			120	240	360	20	(0.0)	40	(0.0)	30	(0.0)
18		Lauderia annulata	240	240	120	960	720	360	240	600	480	600	480	960	2,280	3,720	6,000	380	(0.1)	620	(0.2)	500	(0.1)
19		Thalassiosira sp.	1,920	1,920	1,200	1,200	1,680	2,400	720	1,680	1,200	480	1,200	1,680	7,920	9,360	17,280	1,320	(0.4)	1,560	(0.4)	1,440	(0.4)
20		THALASSIOSIRACEAE	1,200	2,400	1,200	1,440	1,440	1,200	480	960	1,920	1,920	960	960	7,200	8,880	16,080	1,200	(0.4)	1,480	(0.4)	1,340	(0.4)
21		Coscinodiscus sp.			60	60			60						120	60	180	20	(0.0)	10	(0.0)	15	(0.0)
22		Rhizosolenia alata		60			60		60	60	120	60	240	60	480	240	720	80	(0.0)	40	(0.0)	60	( /
23		Rhizosolenia delicatula	2,400	3,120	4,320	2,880	5,520	960	3,600	1,920	3,840	3,840	4,080	4,080	23,760	16,800	40,560	3,960	(1.3)	2,800	(0.8)	3,380	(1.0)
24		Rhizosolenia fragilissima	17,520	11,280	12,000	8,880	13,920	17,280	13,200	13,680	15,600	7,680	22,080	12,240	94,320	71,040	165,360	15,720	(5.1)	11,840	(3.3)	13,780	(4.1)
25		Rhizosolenia phuketensis	3,120	4,560	6,720	8,160	3,840	5,280	2,400	3,360	5,520	4,560	5,040	1,440	26,640	27,360	54,000	4,440	(1.4)	4,560	(1.3)	4,500	(1.3)
26		Rhizosolenia setigera	120	60		180	300	120	60	120	60	120	60	120	600	720	1,320	100	(0.0)	120	(0.0)	110	(0.0)
27		Bacteriastrum varians		2,400	960	1,920	1,440	1,920	2,400	960	1,440	2,640	3,840	1,920	10,080	11,760	21,840	1,680	(0.5)	1,960	(0.5)	1,820	(0.5)
28		Chaetoceros affine	1,440	960			960		960	1,920	1,440	2,160	2,400	1,920	7,200	6,960	14,160	1,200	(0.4)	1,160	(0.3)	1,180	(0.3)
29		Chaetoceros compressum	1,440	960	960	960	6,480	6,240	6,000	6,720	2,880	4,800	6,720	2,880	24,480	22,560	47,040	4,080	(1.3)	3,760	(1.0)	3,920	(1.2)
30		Chaetoceros constrictum									1,440	960			1,440	960	2,400	240	(0.1)	160	(0.0)	200	
31		Chaetoceros debile				1,920						960		1,440		4,320	4,320			720	(0.2)	360	(0.1)
32		Chaetoceros decipiens	960	1,440	720	2,400	960	1,680	1,440	3,840	960	3,360	1,920	4,320	6,960	17,040	24,000	1,160	(0.4)	2,840	(0.8)	2,000	(0.6)
33		Chaetoceros didymum v. protuberans											1,440	960	1,440	960	2,400	240	(0.1)	160	(0.0)	200	
34		Chaetoceros radicans	3,840		1,440	1,920	1,680				1,440	2,400	960		9,360	4,320	13,680	1,560	(0.5)	720	(0.2)	1,140	(0.3)
35		Chaetoceros sociale	5,520	8,640	3,360	17,760	27,840	13,200	20,640	18,240	16,320	25,920	18,480	16,320	92,160	100,080	192,240	15,360	(4.9)	16,680	(4.6)	16,020	(4.7)
36		Chaetoceros sp.				960	960						720	240	1,680	1,200	2,880	280	(0.1)	200	(0.1)	240	(0.1)
37		Odontella longicruris	240				120	180						120	360	300	660	60	(0.0)	50	(0.0)	55	(/
38		Cerataulina pelagica	23,520	17,520	20,400	23,520	27,840	27,360	26,640	32,160	16,080	16,320	20,400	17,280	134,880	134,160	269,040	22,480	(7.2)	22,360	(6.1)	22,420	
39		Hemiaulus hauckii								480				480		960	960			160	(0.0)	80	( /
40		Eucampia zodiacus	120	240			240			840		240	480		840	1,320	2,160	140	(0.0)	220	(0.1)	180	(0.1)

注1) 平均細胞数欄の() 内数値は総数に対する組成率(%) を示す。

注2) 平均細胞数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入している。

#### 資料-7.2 植物プランクトン(2/2)

調査年月日: 令和7年5月27日

調査方法 : バンドーン型採水器による採水

調査機関 : 東北電力株式会社

細胞数密度(細胞/L)

州川川	数省及(神肥/L	/																	調宜	1灰 天	<b>限礼电刀材</b>	八八五江		
			調査点	St.	23	St.	30	St.	32	St.	33	St.	34	St.	35	•	計		•	•	平均細	胞数		
	門	種名	採集層	0.5m	5. Om	0.5m	5. Om	全層	0. 9	5m	5. 0	Эm	全月	喜										
41	黄色植物	Asterionella glacialis							480	480		960		480		1,920	480	2,400	320	(0.1)	80	(0.0)	200	(0.1)
42		Thalassionema nitzschioides						960	960	480	480				480	1,440	1,920	3,360	240	(0.1)	320	(0.1)	280	(0.1)
43		Neodelphineis pelagica		960	480	240	960	1,920	480	1,440	1,920		720	960	960	5,520	5,520	11,040	920	(0.3)	920	(0.3)	920	(0.3)
44		Licmophora sp.		480		720		240								1,440		1,440	240	(0.1)			120	(0.0)
45		Navicula membranacea		1,440	480	1,200	2,400	1,680	960	960	720	1,680	1,920	2,880	480	9,840	6,960	16,800	1,640	(0.5)	1,160	(0.3)	1,400	(0.4)
46		Navicula sp.		960	720	720					240			720	720	2,400	1,680	4,080	400	(0.1)	280	(0.1)	340	(0.1)
47		Pleurosigma sp.				60			60	60		60		180	60	360	120	480	60	(0.0)	20	(0.0)	40	(0.0)
48		NAVICULACEAE		240											240	240	240	480	40	(0.0)	40	(0.0)	40	(0.0)
49		Nitzschia pungens			240	240	720	960	240	480	1,080	1,080	720	480	480	3,240	3,480	6,720	540	(0.2)	580	(0.2)	560	(0.2)
50		Nitzschia spp.		6,000	3,120	5,760	6,480	10,560	6,480	4,800	9,840	6,480	10,560	7,200	6,000	40,800	42,480	83,280	6,800	(2.2)	7,080	(1.9)	6,940	(2.1)
51		Cylindrotheca closterium		3,360	1,680	4,800	2,400	2,880	3,120	2,640	3,120	4,320	2,160	2,640	2,400	20,640	14,880	35,520	3,440	(1.1)	2,480	(0.7)	2,960	(0.9)
52	ミドリムシ植物	EUGLENOPHYCEAE		240		480	240	240				720	480			1,680	720	2,400	280	(0.1)	120	(0.0)	200	(0.1)
53	緑藻植物	PRASINOPHYCEAE		1,680	3,360	960	10,080	11,040	8,640	480	11,520	3,840	9,840	1,920	9,600	19,920	53,040	72,960	3,320	(1.1)	8,840	(2.4)	6,080	(1.8)
54	不明	微小鞭毛藻類		2,880	9,120	6,000	12,000	5,760	3,840	1,440	5,760	4,800	3,840	4,320	1,920	25,200	36,480	61,680	4,200	(1.3)	6,080	(1.7)	5,140	(1.5)
		合 計		261,300	304,020	258,120	332,280	387,900	384,780	284,340	386,520	315,720	400,920	359,640	373,860	1,867,020	2,182,380	4,049,400	311,170	(100.0)	363,730	(100.0)	337,450	(100.0)
		出現種類数		35	32	36	38	41	35	36	38	35	40	41	43	52	53	54						

注1) 平均細胞数欄の() 内数値は総数に対する組成率(%) を示す。

注2) 平均細胞数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。

# 資料-8.1 海藻草類 (L-A-①) (1)

調査年月日: 令和7年5月16日 調査方法 : ベルトトランセクト法

単位:% 調査機関 : 東北電力株式会社 0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 75 80 85 90 95 100 105 110 115 120 125 130 135 140 145 150 155 160 165 170 175 180 185 190 195 200 205 210 215 220 225 230 235 240 245 分類群 出現種 / 全体被度 1 紅藻植物 アマノリ属 カギノリ ヨレクサ オバクサ イソキリ ヤハズシコロ ピリヒバ サビ亜科 ムカデノリ タンバノリ フダラク キントキ属 13 イワノカワ科 ツノマタ属 15 アカバギンナンソウ 16 ベニスナゴ ハリガネ ユカリ 19 タオヤギソウ 20 イギス科 21 ダジア科 22 23 24 25 ハイウスバノリ属 ヌメハノリ ハブタエノリ スズシロノリ 26 ソゾ属 27 イトグサ属 28 ホソコザネモ 29 コザネモ 30 褐藻植物 ネバリモ属 31 フクロノリ 32 33 34 35 36 ウルシグサ ケウルシグサ ワカメ スジメ マコンブ 37 コンブ科 幼体 38 アミジグサ 39 フクリンアミジ

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠 (1m²) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

# 60

# 資料-8.1 海藻草類 (L-A-②) (1)

調査年月日: 令和7年5月16日 調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

単位:%																																				調	査機	関	:東	北電	1力株	式会	社				
分類群		距離(m)	0	5 10	) 15	20	25	30	35	40 4	5 5	0 55	60	65	70	75	80	85 9	90	95 10	0 105	110	115	120	125 1	30 1	35 14	0 14	5 15	0 155	160	165	170	175	180	185	190 1	195 2	00 20	05 2	10 21	5 22	0 225	230	235	240	245
刀块种	出現種 /	全体被度		70	70	70	70	70	70	70 7	0 3	0 30	30	30	30	30	30	30 3	30	30 -	+ +	+	+	5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5	5	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+
41 褐藻植物	コモングサ			+	+ +	+	+	+	+	+	+																																				
42	ウガノモク			+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+																											ļ
43	アカモク			+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+																											ļ
44 緑藻植物	アオサ属											+ +	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+
45	ジュズモ属											+ +	+	+	+	+	+	+	+	+																											ļ
46	シオグサ属																																														ļ
47	ツユノイト属																																														ļ
48 種子植物	スガモ											5 5	5	5	5	5	5	5	5	5				5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5	5									ļ

注1) 「被度」とは「m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-A-(1)) (2)

分類群	距離(m)	250	255	260	265	270	275	280	285	290	295	300 3	305 3	10 31	0 321	J 325	330	335	340	345 .	<u>პნს პ</u>	555 31	00 30	0 3/	0 3/	/5 380 38	5 390 395																	
/J XR #T	出現種 / 全体被度	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+		5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	+	+	+	+	+	+	+	+
藻植物	アマノリ属																																											
	カギノリ																																											
	ヨレクサ																																											
	オバクサ																																											
	イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	ヤハズシコロ																																											
	ピリヒバ																																											
	サビ亜科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	95	95	95 9	5 9	5 95	95	95	95	95	95	95	95 9	5 9	5 9	95		80	80	80	80	80 8	80 8	) 80	08 0	80	+	+	+	+	+	+	+	+
	ムカデノリ																																											
	タンバノリ																																											
	フダラク																																											
	キントキ属																																											
	イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	ツノマタ属																																											
	アカバギンナンソウ																																											
	ベニスナゴ																																											
	ハリガネ																																											
	ユカリ																																				+	+	+	+	+	+	+	+
	タオヤギソウ																																											
	イギス科					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+								
	ダジア科																				+	+	+	+	+	+																		
	ハイウスバノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	+	+	+	+	+	+	+	+
	ヌメハノリ											+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																		
	ハブタエノリ																																				+	+	+	+	+	+	+	+
	スズシロノリ																																											
	ソゾ属																											+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	4
	イトグサ属																																											
	ホソコザネモ											+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	コザネモ											+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+																		
	ネバリモ属																																											
	フクロノリ																				+	+	+	+	+	+																		
	ウルシグサ																																											
	ケウルシグサ	+	+	+	+																							+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+								
	ワカメ					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+								+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	4
	スジメ																																											
	マコンブ																																				+	+	+	+	+	+	+	+
	コンブ科 幼体																																											
	アミジグサ																				+	+	+	+	+	+																		
	フクリンアミジ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -			+	+	+	+	+	+	+	+	+																		
	サナダグサ	1 '					+			+															•																			

(L-A-2) (2)

単位:	: %																																													
4	類群		距離(m)	250	255 2	60 26	5 270	275	280 2	85 29	0 295	300	305 3	10 31	5 320	325	330	335 3	340 3	345 3	50 35	5 360	365	370	375	380 38	85 39	90 395	400	405	410	115 4	20 42	430	435	440	445 4	50 4	55 4	60 4	65 47	0 475	480	485	490	495
//	大只 位十	出現種 /	全体被度	+	+	+	+ +	+	+	+ -	+ +	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+				5	5	5	5	5 !	5 5	5	5	5	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+
41 褐	藻植物	コモングサ																																												
42		ウガノモク																																												
43		アカモク																											+	+	+	+	+ .	+ +	+	+	+									
44 緑	藻植物	アオサ属					+	+	+	+	+ +	+	+	+ .	+ +	+	+	+	+	+																		+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+
45		ジュズモ属																																												
46		シオグサ属																																												
47		ツユノイト属																																												
48 種-	子植物	スガモ																																												

注1) 「被度」とは「mx 1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-A-(1)) (3)

·類群	距離 (m)	500	505 5	510 5	515 5	520 5	25 5	30 50	35 54	10 54	5 550	555	560	565 5	570 5	75 58	0 585	5 590	595	600 6	05 61	0 615	620	625	630	635 6	40 64	45 65	655	660	665	670	675 6	80 6	85 69	90 69	5 700	705	710 7	715 72	20 72	25 730	0 73	5 7
	出現種 / 全体被度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5 10	) 10	10	10	10	10 1	0 10	) 10	10	10	10 1	0 10	10	10	10	10	10 1	10 1	) 10	10	10	10	10	10	10 1	10 10	0 5	5	5	5	5	5 5	5	5
藻植物	アマノリ属																																											
	カギノリ																																											
	ヨレクサ																																											
	オバクサ																																											
	イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+	+
	ヤハズシコロ																																											
	ピリヒバ																																											
	サビ亜科	90	90	90	90	90	90	90 9	90 9	90 9	0 80	80	80	80	80	80 8	0 80	80	80	90	90 9	0 90	90	90	90	90	90 9	90 9	90	90	90	90	90	90	90 9	90 90	0 90	90	90	90 9	90 9	90 90	0 9	90
	ムカデノリ																																											
	タンバノリ																																											
	フダラク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+																									
	キントキ属																																											
	イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+	+
	ツノマタ属																																											
	アカバギンナンソウ																																											
	ベニスナゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+																		+	+	+	+	+	+ -	+	+
	ハリガネ																																											
	ユカリ																																											
	タオヤギソウ																																											
	イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+	+
	ダジア科																																											
	ハイウスバノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ {	5 5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5 !	5 5	5	5	5	5	5 5	5	5
	ヌメハノリ																												+ +	+	+	+	+	+	+	+ .	+							
	ハブタエノリ																																				+	+	+	+	+	+ -	+ .	+
	スズシロノリ																			+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ .	+ +	+	+	+	+	+ -	+ .	+
	ソゾ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+	+
	イトグサ属																																											
	ホソコザネモ																																											
	コザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+
	ネバリモ属																																											
	フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ {	5 5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5	5 +	+	+	+	+	+ +	+	+
	ウルシグサ																																											
	ケウルシグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+
	ワカメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+ -	+
	スジメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+									+	+	+	+	+	+ -	+ ·	+
	マコンブ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5 -	+	+	+	+	+	+ +	+	+																									
	コンブ科 幼体	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+																
	アミジグサ																																											
	フクリンアミジ																																											

<sup>| 40 |</sup> サナダグサ | 注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-A-2) (3)

単	位	:	9

+12	. 70																																															
	分類群		距離(m)	500 5	505	510 !	515	520 5	525 53	30 53	5 540	545	550	555 5	60 5	65 5	70 5	75 58	0 58	5 590	595	600	605	610	615	620 62	25 63	30 63	5 640	645	650	655	660 6	65 6	70 67	5 680	685	690	695	700	705	710	715 7	20 72	25 73	735	5 740	745
	刀 規件	出現種 /	全体被度	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5	10	10	10	10	10	10 1	0 10	0 10	) 10	10	10	10	10	10	10 1	10 1	0 10	10	10	10	10	10	10 1	0 10	10	10	10	5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	- 5
41 ‡	曷藻植物	コモングサ																																														
42		ウガノモク																																														
43		アカモク																																														
44 #	录藻植物	アオサ属		+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+
45		ジュズモ属																																														
46		シオグサ属		+	+	+	+	+	+	+	+ +	+																																				
47		ツユノイト属																																														
48 ₹	重子植物	スガモ																																														

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-A-(1)) (4)

単位:9	,
------	---

単位:	%	距離(m)	750	755	760	765	770 .	775 7	00 70	E 70	0 705	000	00E 0	10 01	E 0.0/		. 020	025	0.40	045 (	DEO 0	EE 0	60 0	CE O	70 0	7E 0	00 0	05 0	200 0	ODE O	5 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995
分	類群	出現種 / 全体被度									0 795																				
1 &T 3	<b>薬植物</b>	アマノリ属	10	10	10	10	10	10	10 1	0 1	0 10	10	10	10 1	0 10	) 10	10	10	10	10	3	υ	J	J	J	J	Ü	υ	υ	υ	
2		カギノリ																													
3		ヨレクサ																													
4		オバクサ																													
5		イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+ -	+ +		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
6		ヤハズシコロ																													
7		ピリヒバ																													
8		サビ亜科	90	90	90	90	90	90	90 9	0 9	0 90	90	90	90 9	0 90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90 9	90 9	90	90	90	90	
9		ムカデノリ																													
10		タンバノリ																													
11		フダラク																													
12		キントキ属																													
13		イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
14		ツノマタ属																													
15		アカバギンナンソウ																													
16		ベニスナゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
17		ハリガネ																													
18		ユカリ																													
19		タオヤギソウ																													
20		イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+											
21		ダジア科																													
22		ハイウスバノリ属	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	•
23		ヌメハノリ																													
24		ハブタエノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
25		スズシロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
26		ソゾ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
27		イトグサ属																													
28		ホソコザネモ																													
29		コザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
30 褐河		ネバリモ属																													
31		フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
32		ウルシグサ																													
33		ケウルシグサ	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	10	10	10 1	0 10	) 10	10	10	10	10	5	5	5	5	5	5	5	-	5	-	
34		ワカメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
35		スジメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
36		マコンブ																													
37		コンブ科 幼体																													
38		アミジグサ																													
39		フクリンアミジ																													
40		サナダグサ	1																												

注1) 「被度」とはim×lm方形枠(lm²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-A-2) (4)

単位・%

平位: %			
分類群	距離(m)	1 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970	975 980 985 990 995
刀泵钳	出現種 / 全体被度	) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
41 褐藻植物	コモングサ		
42	ウガノモク		
43	アカモク		
44 緑藻植物	アオサ属		
45	ジュズモ属		
46	シオグサ属		
47	ツユノイト属		
48 種子植物	スガモ		

| アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパラ | アパ

# 資料-8.1 海藻草類 (L-B) (1)

調査年月日: 令和7年5月22日 調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

単位:%																										力株式会	- フ   /A <b>è</b> 社	
	距離 (m)	0	5 10	15 20	0 25	30 35	40 4	5 50	55 60	65 7	70 75	80 8	85 90	95	100 10	5 110 1°	15 120	125 130	135 14	0 145 1	50 155	160 165	170 17	5 180 1				0 235 240 245
分類群	出現種 / 全体被度																											
1 紅藻植物	アマノリ属																											
2	イソキリ																											
3	サビ亜科																											
4	イワノカワ科																											
5	ユルヂギヌ属																											
6	ベニスナゴ																											
7	ダルス																											
8	イギス科																											
9	イソハギ																											
10	ダジア科																											
11	ハイウスバノリ属																											
12	ヌメハノリ																											
13	ハブタエノリ																											
14	スズシロノリ																											
15	ソゾ属																											
16	イトグサ属																											
17	コザネモ																											
18 褐藻植物																												
19	ケウルシグサ																											
20	ワカメ																											
21	スジメ																											
22	マコンブ																											
23	コンブ科 幼体																											
24 緑藻植物	アオサ属																											
25	ツユノイト属																											

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいう。

(L-B) (2)

分類群	距離(m)	250	255	260	265	270	0 27	75 28	80 2	285 2	290	295	300	305	310	315	320	325	330	33	5 34	0 34	5 35	50 3	55 3	60	365	370	375	5 38	30 3	85 3	90 3	95	100	405	410	415	42	0 4	25	430	435	440	445	450	45	5 46	0 46	55 4	70 4	175	480	485	490	0 4
万無群	出現種 / 全体被度																							+	+										+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	- +			+	+	+	+	+	+	+	+	+
1 紅藻植物	アマノリ属																																																							
2	イソキリ																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	+	-										
3	サビ亜科																							+	+										80	80	80	80	) 8	0	80	80	80	80	80	70	) 70	) 7	0 7	0	70	70	70	70	70	0
4	イワノカワ科																							+	+										+	+	+	4	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	- 4	+
5	ユルヂギヌ属																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	+	-										
6	ベニスナゴ																																													-		+	+	+	+	+	+	+	4	+
7	ダルス																							+	+																															
8	イギス科																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	-			+	+	+	+	+	+	+	4	+
9	イソハギ																																																							
0	ダジア科																																																							
1	ハイウスバノリ属																																		+	+	+	4	+	+	+	+	+	+	-			+	+	+	+	+	+	+	- 4	+
12	ヌメハノリ																																																							
13	ハブタエノリ																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	-			+	+	+	+	+	+	+	4	+
14	スズシロノリ																																																							
15	ソゾ属																																																							
16	イトグサ属																							+	+										+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	-											
17	コザネモ																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	-			+	+	+	+	+	+	+	4	+
18 褐藻植物	フクロノリ																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+	4	+
19	ケウルシグサ																																		+	+	+	4	-	+	+	+	+	+	-											
20	ワカメ																							+	+																															
21	スジメ																																																							
22	マコンブ																							+	+																															
23	コンブ科 幼体																							+	+																															
24 緑藻植物	アオサ属																							+	+										+	+	+	4	÷	+	+	+	+	+	-			+	+	+	+	+	+	+	4	+
25	ツユノイト属																																																							

<sup>| 25 | |</sup> ツユノイト属 | 注1) 「被度」とはIm×Im方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-B) (3)

単位:%																			`	(L-D	'	(0)																									
	距離(m)	500	505 5	510 5	515 5	520 5	25 53	30 53	5 54	0 545	550	555	560 5	565 5	570 5	75 58	30 58	5 590	0 59	5 600	605	610	615	620	625 6	30 6	635 6	40 6	45 65	0 65	5 660	665	670	675	680	685	690 6	95 70	00 70	05 7	10 71	5 720	0 725	730	735	740	745
分類群	出現種 / 全体被度	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+ 5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5 !	5 5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10 1	0 10	0 10	10	10	10	10
1 紅藻植物	アマノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																																					
2	イソキリ																																														
3	サビ亜科	10	10	10	10	10	10	10 1	0 1	0 10	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+ 90	90	90	90	90	90	90	90	90	90 8	80 80	0 80	80	80	80	80	80	80	80 (	60 6	60 (	60 6	0 60	0 60	60	60	60	60
4	イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
5	ユルヂギヌ属																																														
6	ベニスナゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +										+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
7	ダルス	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																																					
8	イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																				+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+									
9	イソハギ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																																					
10	ダジア科																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																		
11	ハイウスバノリ属										+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
12	ヌメハノリ										+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+																											
13	ハブタエノリ																																														
14	スズシロノリ																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
15	ソゾ属																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+									
16	イトグサ属																																														
17	コザネモ																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
18 褐藻植物	フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +										5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+									
19	ケウルシグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	5 5	5 5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10 1	0 10	) 10	10	10	10	10
20	ワカメ																													+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
21	スジメ																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
22	マコンブ																													+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
23	コンブ科 幼体	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +										+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+
24 緑藻植物	アオサ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																																					
25	ツユノイト属																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																		

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海薬草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-B) (4)

単位:%		(L <sup>-</sup> D) (4)
分類群	距離 (m)	750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 985 980 980 985 980 985 980 985 980 985 980 985 980 985 980 985 980 985 980
刀灰兒和干	出現種 / 全体被度	+ + + + + + + +
1 紅藻植物	アマノリ属	
2	イソキリ	
3	サビ亜科	60 60 60 60 60 60 60 60 60 60
4	イワノカワ科	+ + + + + + + + +
5	ユルヂギヌ属	
6	ベニスナゴ	+ + + + + + + + +
7	ダルス	
8	イギス科	
9	イソハギ	
10	ダジア科	
11	ハイウスバノリ属	+ + + + + + + + +
12	ヌメハノリ	
13	ハブタエノリ	
14	スズシロノリ	+ + + + + + + + +
15	ソゾ属	+ + + + + + + + + +
16	イトグサ属	
17	コザネモ	+ + + + + + + + +
18 褐藻植物	フクロノリ	
19	ケウルシグサ	
20	ワカメ	
21	スジメ	+ + + + + + + + + +
22	マコンブ	
23	コンブ科 幼体	+ + + + + + + + + + +
24 緑藻植物	アオサ属	
25	ツユノイト属	+ + + + + + + + +

注1) 「被度」とは「m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海薬草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

単位:%

#### 資料-8.1 海藻草類 (L-C-(1)) (1)

調査年月日: 令和7年5月21日 調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

中四:	/0																																										:果								
分類	5 <del>1) Y</del>	距離(m)	0	5	10 1	5 2	20 2	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145 1	50 1	55 1	60 1	65 1	70 1	75 18	80 1	85 1	90 19	95 2	00 20	05 2	10 21	15 22	20 22	5 23	J 235	5 240	245
万块	桥	出現種 / 全体被度				4	10 4	40	40	40	40	40	90	90	90	90	)				+	+	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	+	+	+	+ ;	30	30 (	30	30	+	+	+	+	10 1	10 1	0 1	0	+ +	+ +	+
1 紅藻		アマノリ属				1	0 1	10	10	10	10	10											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																			
2		カギノリ					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ (	20	20 2	20	20					+	+	+	+	+ +	+ +	+
3		ヨレクサ																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																			
4		オバクサ											5	5	5	5							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+													+	+	+	+	+ +	+ +	+
5		イソキリ																																																	
6		ヤハズシコロ																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+											
7		ピリヒバ					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+									+ +	+ +	+
8		サビ亜科					+	+	+	+	+	+	80	80	80	80	)				+	+	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	10	10	10	10	95 9	95	95 9	95	70 7	70 7	70 7	0	+ +	+ +	+
9		ミチガエソウ																																																	
10		タンバノリ											5	5	5	5							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+											
11		キントキ属																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+															
12		イワノカワ科																																							+	+	+	+							
13		ツノマタ属											+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+											
14		アカバギンナンソウ					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+											+	+	+	+	+	+	+	+									+ +	+ +	+
15		ベニスナゴ																																																	
16		ハリガネ																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					10	10	10	10											
17		ユカリ																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+													+	+	+	+			
18		ダルス																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+					+	+	+	+	+ +	+ +	+
19		アナダルス																																																	
20		イギス科											+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
21		イソハギ																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+			+	+							
22		ダジア科											+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+	+		+	+							
23		ハイウスバノリ属																					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+					+	+	+	+			
24		ヌメハノリ																																							+	+	+	+							
25		ハブタエノリ																																																	
26		スズシロノリ																																																	
27		ソゾ属																																																	
28		フジマツモ																									+																								
29		イトグサ属																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+											+		+	+	+	+			
30		コザネモ																																							+	+	+	+							
31 褐藻		フクロノリ																																																	
32		カヤモノリ					+	+	+	+	+	+											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																			
33		ハバモドキ																			+	+																													
34		ムチモ					+	+	+	+	+	+																																							
35		クロガシラ属					+	+	+	+	+	+																					+	+	+	+															
36		ケウルシグサ																																																	
37		ワカメ											+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+			+	+	+	+			
38		スジメ							40		40	40	+	+	+	+							00	00	0.0	0.0		00			00	00													_	_	_	_			
39		マコンブ													20												30																		5	-	•	•	+ +	+ +	+
40		コンブ科 幼体	1				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	+	+	+	+							+	+	+	+	+	+			

#### 資料-8.1 海藻草類 (L-C-(2)) (1)

調査年月日: 令和7年5月21日 調査方法 : ベルトトランセクト法調査機関 : 東北電力株式会社

																																			MH										
単位:%																																		Ī	周査権	護関	: ]	東北	電力	朱式:	会社				
分類群	距離(m)	0	5 10	15	20	25	30 3	35 4	40 4	15 !	50 5	5 60	65	70	75 8	0 85	90	95	100 1	05 1	0 11	5 120	125	130	135	140	145 1	50 1	55 1	60 16	65 17	70 17	5 180	185	190	195	200	205	210 2	215 2	220 2	25 2	30 2	235 2	40 24
万银矸	出現種 / 全体被度				40	40	40 4	10 4	40 4	10 !	90 9	0 90	90				+	+	50	50	0 50	50	50	50	50	50	50	+	+	+	+ 3	30 3	0 30	30	+	+	+	+	10	10	10	10	+	+	+
41 褐藻植物	エゾヤハズ																																						+	+	+	+			
42	サナダグサ																																												
43	コモングサ																																												
44	ウガノモク				5	5	5	5	5	5	+	+ +	+				+	+	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5												+	+	+	+	+	+	+
45	フシスジモク										+	+ +	+						+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+								5	5	5	5	+	+	+
46	アカモク									(	60 6	0 60	60						5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	+	+	+	+								+	+	+	+			
47 緑藻植物	アオサ属				10	10	10	10 1	10 1	10							+	+	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+							+	+	+
48	フトジュズモ										+	+ +	+																			+	+ +	+					+	+	+	+	+	+	+
49	ジュズモ属				5	5	5	5	5	5							+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+												+	+	+
50	シオグサ属										+	+ +	+						+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+																+	+	+
51	ツユノイト属																																												
52 種子植物	スガモ																		+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+																		

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠 (1m²) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

分類群	距離 (m)	250	255	260	265	270	275	280	285	290	295 3	300 3	05 31	0 31	5 320	325	330	335	340	345	350	355	360	365 3	370 3	75 38	0 385	390	395	400	405	410 4	115 42	20 42	25 43	0 43	35 4/	40 44	45 4	50 45	55 4	60 4	65 470	475 48C	485	49
<b>万</b> 類群	出現種 / 全体被度	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +		+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			_
藻植物	アマノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			_
	カギノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	ヨレクサ																																													
	オバクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	ヤハズシコロ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	ピリヒバ																																													
	サビ亜科	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	50	50 5	0 5	0 50	50	9!	5 95	95	95	95	95	95	95	95 9	95	+ +	+ +	+	80	80	80	80 8	80 8	80 8	0 8	80 {	80 8	80	10 1	10	10	10			
	ミチガエソウ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	タンバノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	キントキ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +		+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	ツノマタ属																																													
	アカバギンナンソウ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	ベニスナゴ																																							+	+	+	+			
	ハリガネ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																			
	ユカリ																																													
	ダルス											+	+	+	+ -	+ +	F				+	+	+	+	+	+																				
	アナダルス																													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							
	イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						-	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	イソハギ																																													
	ダジア科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+										+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	ハイウスバノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						-	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	ヌメハノリ																				+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	ハブタエノリ																																													
	スズシロノリ																													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							
	ソゾ属																				+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	フジマツモ																																													
	イトグサ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	ŀ										+ +	+ +	+																	
	コザネモ																										+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							
藻植物	フクロノリ																																							+	+	+	+			
	カヤモノリ																																													
	ハバモドキ																													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	ムチモ																																													
	クロガシラ属																																													
	ケウルシグサ																																													
	ワカメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +		+ +	+	+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	スジメ																	+ +	+	+																				+	+	+	+			
	マコンブ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	ŀ													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+			
	コンブ科 幼体	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	_	+	_						+											_											+				

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-C-2) (2)

単位・%

単位:%	距離(m)	) 250	0 25	260	265	270	7 275	5 280	0 281	200	205	300	305	310	315	320	325 3	330 3	35 3	40 3 <i>i</i>	45 3F	50 35	5 360	365	370	375	380	385	300 1	05 /	00 40	5 /11	115	120	125 /	30 4	35 11	0 44	5 450	155	460	165	470	175 1	80 48	5 490	105
分類群	出現種 / 全体被度		+ -	+ +	+		+ +	+ -	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ +	+ +			+		7/0 7	00 40	0 400	100
41 褐藻植物	エゾヤハズ																																														
42	サナダグサ																																														
43	コモングサ											+	+	+	+	+	+																														
44	ウガノモク	-	+ -	+ +	+	- 4	+ +	+ -	+ -	+ +	+																																				
45	フシスジモク																																														
46	アカモク	-	+ -	+ +	+	- +	+ +	+ -	+ -	+ +	+											+	+ +	+	+	+																					
47 緑藻植物	アオサ属	-	+ -	+ +	+	- 4	+ +	+ -	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+					
48	フトジュズモ	-	+ -	+ +	+	- +	+ +	+ -	+ -	+ +	+																																				
49	ジュズモ属																																														
50	シオグサ属																																														
51	ツユノイト属																																														
52 種子植物	スガモ																																														

- 注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-C-(1)) (3)

分類群	距離(m)	500 505 510 515 520 525 530 535 540 545 550 555 560 565 570 575 580 585 590 595 580 585 590 595 600 605 610 615 620 625 630 635 640 645 650 665 660 665 670 675 680 685 690 695 700 705 7					
	出現種 / 全体被度	+ +	+	+ +	+	+	+
紅藻植物	アマノリ属						
	カギノリ						
	ヨレクサ						
	オバクサ						
	イソキリ	+ +	+	+ +	+	+	+
	ヤハズシコロ						
	ピリヒバ						
	サビ亜科	+ + + + + + + + 90 90	90 9	JO 90	90	90 9	90
	ミチガエソウ						
	タンバノリ						
	キントキ属						
	イワノカワ科	+ +	+	+ +	+ +	+	+
	ツノマタ属						
	アカバギンナンソウ						
	ベニスナゴ	+ +	+	+ +	+ +	+	+
	ハリガネ						
	ユカリ						
	ダルス						
	アナダルス						
	イギス科	+ +	+	+ +	+ +	+	+
	イソハギ						
	ダジア科						
	ハイウスバノリ属	+ +	+	+ +	+ +	+	+
	ヌメハノリ						
	ハブタエノリ	+ +	+	+ +	+ +	+	+
	スズシロノリ	+ +					
	ソゾ属	+ +					
	フジマツモ						
	イトグサ属						
	コザネモ	+ +	+	+ +	+ +	+	+
<b>湯藻植物</b>	フクロノリ	+ +					
	カヤモノリ						
	ハバモドキ	+ +	+	+ +	+ +	+	+
	ムチモ						
	クロガシラ属						
	ケウルシグサ						
	ワカメ						
	スジメ						
	マコンブ						
	コンブ科 幼体	+ +					

<sup>| 40 |</sup> コンブ科 幼体 | 注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-C-2) (3)

単位:%

平14.	70																													
△:	類群	距離(m)	500 505 510 51	15 520 525	530 535 54	40 545 55	555 560	565 570	575 580	0 585 590	0 595 60	0 605 6	10 615	620 62	5 630 6	35 640	645 650	655 660	665 67	0 675 6	80 685	690 69	5 700	705 7	10 71	5 720	725 7	30 735	740	745
71:	規杆	出現種 / 全体被度																					+	+	+	+ +	+	+ +	+	+
41 褐薄	藻植物	エゾヤハズ																												
42		サナダグサ																												
43		コモングサ																												
44		ウガノモク																												
45		フシスジモク																												
46		アカモク																												
47 緑薄	稾植物	アオサ属																					+	+	+	+ +	+	+ +	+	+
48		フトジュズモ																												
49		ジュズモ属																												
50		シオグサ属																												
51		ツユノイト属																					+	+	+	+ +	+	+ +	+	+
52 種子	子植物	スガモ																												

注1) 「被度」とはim×im方形枠(im²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

#### (L-C-(1)) (4)

単位:%												$(L^{-0}-(1))$ $(4)$
分類群	距離(m)											800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990
	出現種 / 全体被度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
1 紅藻植物	アマノリ属											
2	カギノリ ヨレクサ											
3												
4	オバクサ イソキリ	Ι.				+						
5	イフキリ ヤハズシコロ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
7	ピリヒバ											
0	サビ亜科	90	90	90	90	80	90	90	90	90	90	
0	ミチガエソウ	00	00	00	00	00	00	00	00	00	00	
10	タンバノリ											
1	キントキ属											
2	イワノカワ科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
3	ツノマタ属	10	10	10			10		10	10	10	
4	アカバギンナンソウ											
5	ベニスナゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
6	ハリガネ											
7	ユカリ											
8	ダルス											
9	アナダルス											
0	イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
1	イソハギ											
2	ダジア科											
3	ハイウスバノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
4	ヌメハノリ											
5	ハブタエノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
6	スズシロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
7	ソゾ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
8	フジマツモ											
9	イトグサ属											
0	コザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
褐藻植物	フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	カヤモノリ	1										
3	ハバモドキ	1										
4	ムチモ	1										
5	クロガシラ属	1										
6	ケウルシグサ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
7	ワカメ											
88	スジメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	

- 注1) 「被度」とは「mx 1m方形体 (1m²) の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

マコンブ コンブ科 幼体 (L-C-2) (4)

単位・%

平12 : %		
分類群	距離(m)	750 755 760 765 770 775 780 785 790 795 800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 880 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 990 995
刀灰兒和干	出現種 / 全体被度	5 5 5 5 5 5 5 5 5
41 褐藻植物	エゾヤハズ	
42	サナダグサ	+ + + + + + + + +
43	コモングサ	
44	ウガノモク	
45	フシスジモク	
46	アカモク	
47 緑藻植物	アオサ属	+ + + + + + + + +
48	フトジュズモ	
49	ジュズモ属	
50	シオグサ属	
51	ツユノイト属	+ + + + + + + + +
52 種子植物	スガモ	

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

#### 資料-8.1 海藻草類 (L-D) (1)

調査年月日: 令和7年5月14日 調査方法 : ベルトトランセクト法

単位:%																											サブセ 株式会				
	距離 (m)	0 5 1	10 15 2	20 25 3	30 35	40 45	50 55	60 65	70	75 8	0 85	90 9	5 100	0 105	110 11	5 120	125 1	30 135	140 1	145 150	155 1	0 165	170 17	5 180					235	5 240	245
分類群	出現種 / 全体被度																												+ +	+ +	+
1 紅藻植物	イソキリ																														
2	サビ亜科																											7	0 70	0 70	70
3	イワノカワ科																												+ +	+ +	+
4	ベニスナゴ																														
5	アナダルス																														ı
6	イギス科																														
7	ダジア科																														ı
8	ハイウスバノリ属																												+ +	+ +	+
9	ヌメハノリ																														ı
10	ハブタエノリ																														ı
11	スズシロノリ																														ı
12	ソゾ属																														
13	ホソコザネモ																														
14	コザネモ																														
15 褐藻植物																															ı
16	ウルシグサ																														ı
17	タバコグサ																														ı
18	ケウルシグサ																														ı
19	ワカメ																														
20	スジメ																														ı
21	マコンブ																														
22	コンブ科 幼体																												+ +	+ +	+
23	アミジグサ																														
24 緑藻植物																														+ +	
25	ツユノイト属																												+ +	+ +	+

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。

注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-D) (2)

41 400 004	距離 (m)	250	255	260 2	265 2	270 2	275 2	280 2	85 29	0 295	300	305	310 3	15 32	20 32	5 330	335	340	345	350 3	355 30	60 36	5 370	375	380	385 3	90 39	400	405	410	415	420 42	5 430	0 435	440	445	450	455	460 4	465 4	470 4	75 48	80 48	85 49	) 49
分類群	出現種 / 全体被度	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ 5	5	5	5	+ -	+ +	+ +	+	+	80	80 8	80 8	0 80	80	80	80	80 80	20	20	20	20	20 2	0 -	+ +	+	+	5	5	5	5	5	5	5	5	5
1 紅藻植物	イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	÷				+ .	+ +	+ +	+	+									+	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
2	サビ亜科	95	95	95	95	95	95	95	95 9	5 95	50	50	50	50 2	20 20	0 20	20	20	20	20	20	20 2	0 20	20	20	20	20 20	) 10	10	10	10	10 1	0 90	0 90	90	90	95	95	95	95	95	95 9	95 9	95 9	9 ز
3	イワノカワ科	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	٠ -
4	ベニスナゴ										+	+	+	+																			-	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	F -
5	アナダルス	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+									+	+	+	+ +	+	+	+	+	F					-	+ +	+	+									
6	イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
7	ダジア科																			+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
8	ハイウスバノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+						+	+	+	+ +	+	+	+	+	F					-	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
9	ヌメハノリ																			+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+												
10	ハブタエノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+																				+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
1	スズシロノリ																																				+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
12	ソゾ属																			+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+									
13	ホソコザネモ																																												
14	コザネモ																																	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
15 褐藻植物	フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
16	ウルシグサ																																												
17	タバコグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+																																		
18	ケウルシグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	- 5	5	5	5	+ -	+ +	+ +	+	+	80	80	30 8	0 80	80	80	80	80 80	20	20	20	20	20 2	0 -	+ +	+	+	5	5	5	5	5	5	5	5	5 E
19	ワカメ										+	+	+	+						+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
20	スジメ										+	+	+	+						+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
21	マコンブ														+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+												
22	コンブ科 幼体	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
23	アミジグサ																			+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	٠																	
24 緑藻植物	アオサ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+				+ -	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+ +
25	ツユノイト属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+									+	+	+	+ +	+	+	+	+ -	+ +	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+ 4

(L-D) (3)

単位:9	%																			(L	–v)	(,	3)																								
分類		距離(m)	500	505	510	515	520	525 5	30 53	5 54	545	550	555 5	560 5	65 57	0 57	5 580	585	590	595	600	605	610 6	15 62	20 62	5 63	0 635	640	645	650 6	655 6	60 66	65 67	0 675	680	685	690	695	700 7	705 7	710 7	15 72	20 725	5 730	735	740	745
万知	杆	出現種 / 全体被度	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	5	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5 5	5 5	5
1 紅藻	植物	イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+ +	+ +	+
2		サビ亜科	90	90	90	90	90	90	90 9	0 9	90	90	90	90	90 9	0 9	0 90	90	90	90	90	90	90	90 9	90 9	0 9	0 90	90	90	90	90	90 9	90 9	0 90	90	90	90	90	90	90	90 9	90 9	<b>30</b> 9€	0 90	0 90	90	90
3		イワノカワ科	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	10	10	10	10 1	10 10	0 10	0 10	10	10
4		ベニスナゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ 1	+ +	+ +	+	+
5		アナダルス																												+	+	+	+	+ +	+	+	+	+									
6		イギス科										+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+ +	+	+
7		ダジア科																																													
8		ハイウスバノリ属 ヌメハノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+ +	, +	+ +	+
10		ハブタエノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +		+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	5	5	5	5	5 !	5 F	5 5	. 5	5
11		スズシロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +		+	+	+	+	+	+ +	+		+	+	+	+	+	+	+ .	, o + +	+ +	+ +	+
12		ソゾ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	. +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ .	+ +	+ +	+ +	+
13		ホソコザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	. +	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ .	+ +	+ +	. +	+
14		コザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+ +	+
15 褐藻	植物	フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	5	5	5	5	5	5 5	5 5	5	5	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+ +	+
16		ウルシグサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +										+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	5	5	5	5	5 5	5	5	5	5	+	+	+	+	+ -	+ +	+ +	+	+
17		タバコグサ																																													
18		ケウルシグサ	5	5	5	5	5	5	5	5	5 5	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+									
19		ワカメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+									
20		スジメ	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																			+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ 4	+ +	+ +	+	+
21		マコンブ																																													
22		コンブ科 幼体																																													
23		アミジグサ																																													
24 緑藻	植物	アオサ属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +																			+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ 4	+ +	+ +	+	+
25		ツユノイト属	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+ +	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+ +	+	+	+	+	+	+	+	+	+ 4	+ +	+ +	. +	+

注:1) 「被度」とはtim×tm方形体(tm²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注:2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

(L-D) (4)

分類群	距離(m)	750	755	760	765	770 7	75 7	80 78	5 790	795	800 805 810 815 820 825 830 835 840 845 850 855 860 865 870 875 980 885 890 895 900 905 910 915 920 925 930 935 940 945 950 955 960 965 970 975 980 985 9	90 99
万规杆	出現種 / 全体被度	10	10	10	10	10	10	10 1	0 10	10		
1 紅藻植物	イソキリ	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
2	サビ亜科	90	90	90	90	90	90	90 9	0 90	90		
3	イワノカワ科	10	10	10	10	10	10	10 1	0 10	10		
4	ベニスナゴ	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
5	アナダルス	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
6	イギス科	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
7	ダジア科											
8	ハイウスバノリ属	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
9	ヌメハノリ											
10	ハブタエノリ	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5		
11	スズシロノリ	5	5	5	5	5	5	5	5 5	5		
12	ソゾ属	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
13	ホソコザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
14	コザネモ	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
15 褐藻植物	フクロノリ	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
16	ウルシグサ	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		
17	タバコグサ											
18	ケウルシグサ											
19	ワカメ											
20	スジメ											
21	マコンブ											
22	コンブ科 幼体											
23	アミジグサ											
24 緑藻植物	アオサ属											
25	ツユノイト属	+	+	+	+	+	+	+	+ +	+		

注1) 「被度」とは1m×1m方形枠(1m²)の海底面に対して、その枠中で海藻草類により覆われている面積を百分率で表したものをいい、「+」は海藻草類の被度が5%未満であることを示す。 注2) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

資料-8.2 海藻草類 (海藻群落垂直断面分布)

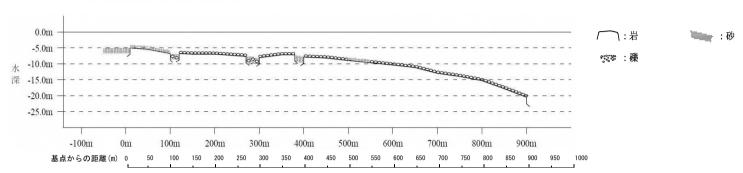
Line-A(令和7年05月)

(L-A-1)

調査年月日: 令和7年5月16日 調査方法 : ベルトトランセクト法

> 凡 例 +~5%未 5~24% 25~49% 50~74% 75%以上

調査機関 : 東北電力株式会社



分類群	出現種/全体被度	出現種/全体被原
紅藻植物	アマノリ属 <del></del>	アマノリ属
	カギノリ <b></b>	カギノリ
	ヨレクサ	ヨレクサ
	オバクサ	オバクサ
5	イソキリ <del></del>	イソキリ
6	ヤハズシコロ	ヤハズシコロ
1	<u>ー</u>	ピリヒバ
3	サビ亜科 <b></b>	サビ亜科
)	ムカデノリ	ムカデノリ
)	タンバノリ	タンバノリ
	フダラク	フダラク
2	キントキ属	キントキ属
3	イワノカワ科	イワノカワ科
ı	ツノマタ属 <del></del>	ツノマタ属
5	アカバギンナンソウ	アカバギンナンソウ
6	ベニスナゴ	ベニスナゴ
1	ハリガネ <u></u>	ハリガネ
3	ユカリ	ユカリ
	タオヤギソウ	タオヤギソウ
)	イギス科	イギス科
l l	ダジア科	ダジア科
2	ハイウスバノリ属	ハイウスバノリ属
3	ヌメハノリ	ヌメハノリ
ı	ハブタェノリ	ハブタエノリ
5	スズシロノリ	スズシロノリ
6	ソゾ属	
7	イトグサ属	イトグサ属
3	ホソコザネモ	ホソコザネモ
	<b></b>	コザネモ
褐藻植物	ネバリモ属 ――	ネバリモ属
1	フクロノリ	フクロノリ
2	ウルシグサ	ウルシグサ
3	ケウルシグサ	ケウルシグサ
ı	ワカメ	ワカメ
5	スジメ	
6	マコンブ	マコンブ
,	コンブ科 幼体	コンブ科 幼体
3	アミジグサ ——	アミジグサ
	フクリンアミジ	フクリンアミジ
	サナダグサ	サナダグサ

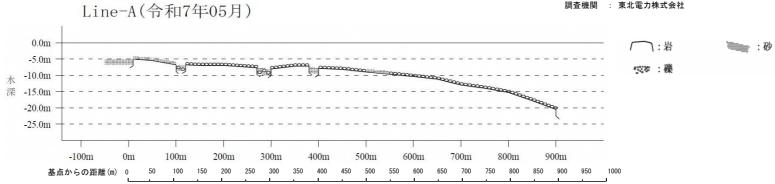
#### 資料-8.2 海藻草類 (海藻群落垂直断面分布)

(L-A-2)

調査年月日: 令和7年5月16日

調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

> 凡例 5~24% 25~49% 50~74% 75%以上



分類群	出現種/全体被度		出現種/全体被度
41 褐藻植物	コモングサ	_	コモングサ
42	ウガノモク		ウガノモク
43	アカモク	<u>—</u>	アカモク
44 緑藻植物	アオサ属		アオサ属
45	ジュズモ属	_	ジュズモ属
46	シオグサ属	<b>—</b>	シオグサ属
47	ツユノイト属		ツユノイト属
48 種子植物	スガモ		スガモ

注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

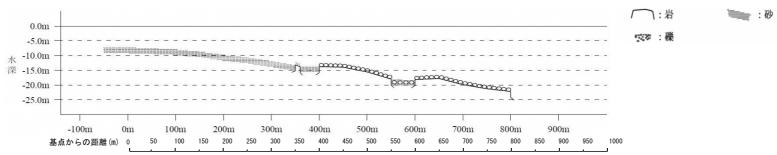
## 資料-8.2 海藻草類 (海藻群落垂直断面分布)

(L-B)

調査年月日: 令和7年5月22日

調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

## Line-B(令和7年05月)



分類群	出現種∕全体被度	出現種/全体被度
1 紅藻植物	アマノリ属	アマノリ属
2	イソキリ <b></b>	イソキリ
3	サビ亜科 <b>■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■</b>	サビ亜科
4	イワノカワ科	イワノカワ科
5	ユルヂギヌ属	ユルヂギヌ属
6	ベニスナゴ	ベニスナゴ
7	<b>ダルス</b> ■ <b>■</b>	ダルス
8	イギス科	<b></b> イギス科
9	イソハギ <b></b>	イソハギ
0	ダジア科	ダジア科
1	ハイウスバノリ属	ハイウスバノリ属
2	ヌメハノリ	ヌメハノリ
3	ハブタエノリ	ハブタエノリ
4	スズシロノリ	スズシロノリ
5	ソゾ属	<b></b> ソゾ属
6	イトグサ属 <b>■ ■</b>	イトグサ属
7	コザネモ	コザネモ
8 褐藻植物	フクロノリ	フクロノリ
9	ケウルシグサ	ケウルシグサ
0	ワカメ	ワカメ
1	スジメ	スジメ
2	マコンブ	マコンブ
3	コンブ科 幼体 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	コンブ科 幼体
4 緑藻植物	アオサ属 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	アオサ属
:5	ツユノイト属	ツユノイト属

注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

資料-8.2 海藻草類 (海藻群落垂直断面分布)

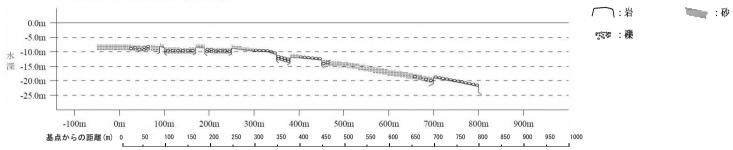
(L-C-(1))

調査年月日: 令和7年5月21日

調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

> 凡 例 +~5%未満 5~24% 25~49% 50~74% 75%以上

## Line-C(令和7年05月)



分類群	出現種/全体被度		出現種/全体被原
紅藻植物	アマノリ属	<del>-</del>	アマノリ属
	カギノリ		カギノリ
	ヨレクサ	_	ヨレクサ
	オバクサ		オバクサ
	イソキリ		イソキリ
	ヤハズシコロ		ヤハズシコロ
	ピリヒバ		ピリヒバ
	サビ亜科		サビ亜科
	ミチガエソウ		ミチガエソウ
	タンバノリ		タンバノリ
	キントキ属		キントキ属
	イワノカワ科		イワノカワ科
	ツノマタ属		ツノマタ属
	アカバギンナンソウ		アカバギンナンソウ
	ベニスナゴ		ベニスナゴ
	ハリガネ		ハリガネ
	ユカリ		ユカリ
	ダルス		ダルス
	アナダルス		アナダルス
	イギス科		イギス科
	イソハギ		イソハギ
	ダジア科		ダジア科
	ハイウスバノリ属		ハイウスバノリ属
	ヌメハノリ		ヌメハノリ
	ハブタエノリ		ハブタエノリ
	スズシロノリ		スズシロノリ
	ソゾ属		ソゾ属
	フジマツモ		フジマツモ
	イトグサ属		イトグサ属
	コザネモ		コザネモ
褐藻植物	フクロノリ		フクロノリ
	カヤモノリ		カヤモノリ
	ハバモドキ		ハバモドキ
	ムチモ		ムチモ
	クロガシラ属		クロガシラ属
	ケウルシグサ		ケウルシグサ
	ワカメ		ワカメ
	スジメ		スジメ
	マコンブ	<del></del>	マコンブ
	コンブ科 幼体		コンブ科 幼体

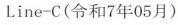
### 資料-8.2 海藻草類 (海藻群落垂直断面分布)

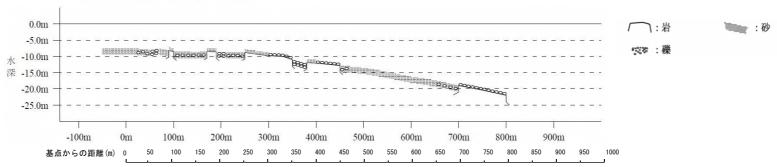
(L-C-2)

調査年月日: 令和7年5月21日

: ベルトトランセクト法 : 東北電力株式会社

> 凡例 +~5%未満 5~24% 25~49% 50~74% 75%以上





分類群	出現種/全体被度		出現種/全体被度
41 褐藻植物	エゾヤハズ		エゾヤハズ
42	サナダグサ		サナダグサ
43	コモングサ	_	コモングサ
44	ウガノモク		ウガノモク
45	フシスジモク		フシスジモク
46	アカモク	<b>I</b> —	アカモク
47 緑藻植物	アオサ属		アオサ属
48	フトジュズモ		フトジュズモ
49	ジュズモ属	<b>—</b> —	ジュズモ属
50	シオグサ属		シオグサ属
51	ツユノイト属		ツユノイト属
52 種子植物	スガモ		スガモ
V2-11 11 12 TE EN		+ r - A + - 1 · + 1 ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

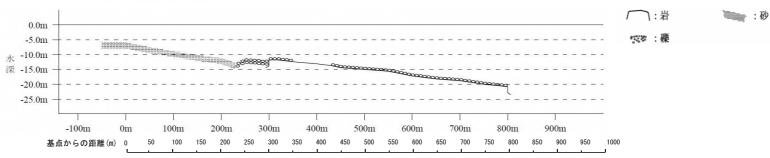
## 資料-8.2 海藻草類 (海藻群落垂直断面分布)

(L-D)

調査年月日: 令和7年5月14日

調査方法 : ベルトトランセクト法 調査機関 : 東北電力株式会社

## Line-D(令和7年05月)



分類群	出現種/全体被度	出現種/全体被度
1 紅藻植物	イソキリ	イソキリ
2	サビ亜科 <b></b>	サビ亜科
3	イワノカワ科	イワノカワ科
4	ベニスナゴ	ベニスナゴ
5	アナダルス	アナダルス
6	イギス科	イギス科
7	ダジア科	ダジア科
8	ハイウスバノリ属	ハイウスバノリ属
9	ヌメハノリ	ヌメハノリ
10	ハブタエノリ	ハブタエノリ
11	スズシロノリ	スズシロノリ
12	ソゾ属	ソゾ属
13	ホソコザネモ	ホソコザネモ
14	コザネモ	コザネモ
15 褐藻植物	フクロノリ	フクロノリ
16	ウルシグサ	
17	タバコグサ	タバコグサ
18	ケウルシグサ	ケウルシグサ
19	ワカメ	ワカメ
20	スジメ	スジメ
21	マコンブ	マコンブ
22	コンブ科 幼体	コンブ科 幼体
23	アミジグサ	アミジグサ
24 緑藻植物	アオサ属	アオサ属
25	ツュノイト属	ツユノイト属

注1) サビ亜科、イワノカワ科は、全体被度に含めていない。

#### 資料-9 底生生物(メガロベントス)

調査年月日:令和7年5月14日~22日

調査方法 : ベルトトランセクト法 (1m×1m方形枠)

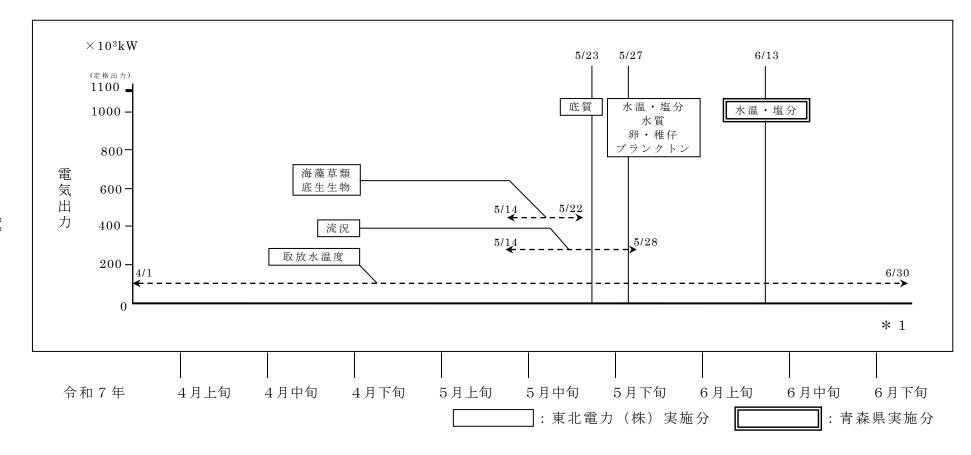
調査機関 :東北電力株式会社

個体数密度(個体/m²)、被度(%)

iii ii	<b>灰田久</b> (旧	<del>                                    </del>																							•							
		調査測線		L	-A			L-	-B			L-C				Ŀ	-D				計						平均	個体数				
	門	種名  調査水深	5m	10m	15m	20m	5m	10m	15m 20	Om	5m	10m 1	5m :	20m	5m	10m	15m	20m	5m	10m	15m	20m	全点	5m		10m	1	5m	:	20m	1	全点
1	海綿動物	海綿動物門 (%)				5			+	10							+				+	+	+				+		+		+	
2	腔腸動物	イソギンチャク目		9													1			9	1		10			2 (42. 9)	0	(2. 0)			1	(4. 1)
3	軟体動物	エゾアワビ															1				1		1				0	(2. 0)			0	(0.4)
4		アメフラシ							1								1				2		2				1	(3. 9)			0	(0.8)
5	棘皮動物	イトマキヒトデ		3	1							4	1							7	2		9			2 (33. 3)	1	(3. 9)			1	(3. 7)
6		キタムラサキウニ		1	6	23			5	3		4		2			9	2		5	20	30	55			1 (23. 8)	5	(39. 2)	8	(17. 4)	3	(22. 5)
7		キンコ科			22	61				66							3	13			25	140	165				6	(49. 0)	35	(81. 4)	10	(67. 6)
8		マナマコ																1				1	1						0	(0.6)	0	(0.4)
9	原索動物	マボヤ																1				1	1						0	(0.6)	0	(0.4)
		合 計		13	29	84			6	69		8	1	2			15	17		21	51	172	244			5 (100. 0)	13	(100.0)	43	(100. 0)	15	(100.0)
	ļ	出現種類数		3	3	3			3	3		2	1	1			6	4		3	7	5	9									

- 注1) 平均個体数欄の( ) 内数値は総数に対する組成率(%)を、個体数の0は0.5個体/m²未満であることを示す。
- 注2) 平均個体数は小数第1位を、組成率は小数第2位をそれぞれ四捨五入していることから、各種の計と合計値は一致しない場合がある。
- 注3) 個体数として計数できない底生生物は、1m×1m方形枠 (1 m²) の海底面に対して、その枠中で底生生物により覆われている面積の百分率 (被度) にて表示する。調査測線(L-A~L-D) の「+」は被度が5%未満、調査測線の計および平均個体数の「+」は、出現したことを示す(被度は合計や平均ができないため)。なお、集計にあたっては出現種類数には含めるが、合計・平均個体数には含めない。

#### (4) 運転状況・調査スケジュール



\*1:平成23年2月6日より第4回定期事業者検査中のため、発電を停止しているので電気出力は0kWとなっている。

東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(令和7年度第1四半期報)

青

森

県

## 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書 (令和7年度第1四半期報)

発 行 令和7年11月

青森県農林水産部水産局水産振興課

〒030-8570 青森市長島一丁目1番1号

電話 (017) 722-1111 (内線 4659)

FAX (017) 734-8166